

既存サイトを WordPress サイトにする方法

HTML で作られたあなたのホームページを簡単にスマホサイト（スマートフォンサイト）に対応させることができる WordPress の設定方法

藤田ひろし

© 2015 Hiroshi Fujita

本書の著作権は藤田ひろしに帰属します。本書の内容はコピーや録音、録画、その他電子的および機械的な方法を含むいかなる形式、手段においても発行者の事前の許可なく複製、転載、配布、送信することは禁止されています。引用やその他非商用的利用などの著作権法で認められた形での利用はこの限りではありません。

© 2015 Hiroshi Fujita

目次

既存サイトを WordPress サイトにする方法.....	1
はじめに.....	5
(1) 移行の手順理解と現行サイトのバックアップ.....	6
1-1) 移行手順.....	6
1-2) FTP ソフトを設定する.....	6
1-3) サーバーのファイルをバックアップする.....	7
(2) 移行を効率的に進めるための最低限の原稿の作成.....	10
2-1) 最低限の原稿とは.....	10
2-2) 既存サイトから情報をコピーする.....	10
(3) レンタルサーバーでの WordPress のインストール.....	14
(4) WordPress の基本設定.....	18
4-1) 管理画面を開く.....	18
4-2) 検索エンジン対策として表示設定を行う.....	18
4-3) デフォルトで入っている、投稿、固定ページ、コメントを削除する.....	19
4-4) ユーザーのセキュリティ設定.....	20
4-5) ディスカッション設定でコメントを使えなくする.....	20
4-6) その他の細かい設定.....	21
4-7) メニューを使って固定ページを作る.....	22
4-8) テーマのメニューを作成する.....	24
(5) 必要なプラグインのインストール.....	26
(0) WP Multibyte Patch.....	26
(1) All in One SEO Pack.....	27
(2) BackWPup.....	32
(3) Broken Link Checker.....	35
(4) Contact Form 7.....	36
(5) Ultimate Google Analytics.....	40
(6) Google Analytics Dashboard.....	41
(7) Image Widget.....	42
(8) Pretty Link Lite.....	43
(9) PS Auto Sitemap.....	43
(10) Redirection.....	47
(11) TinyMCE Advanced.....	48
(12) TinyMCE Clear.....	51
(6) テーマ（テンプレート）の設定.....	54
6-1) テーマを選択する.....	54
6-2) メニューを作成する.....	55
6-3) メディアに画像を追加する.....	57
6-4) 最初から入っているウィジェットを削除する.....	58
6-5) 画像ウィジェットを追加する.....	59
6-6) カスタムメニュー.....	63

6-7) フロントページの表示.....	64
(7) 現行サイトから WP サイトへのコンテンツのコピー.....	66
7-1) 固定ページに文字を貼りつけて写真を挿入する.....	66
7-2) リスト表示.....	68
7-3) リンクを設定する.....	70
7-4) 見出しを設定する.....	71
7-5) 文字色を付ける.....	71
7-6) SEO 用のタイトルと説明を設定する.....	72
7-7) お問い合わせフォームを作る.....	73
7-8) YouTube 動画の埋め込み.....	76
7-9) テーブル（表）.....	76
7-10) 残りのページをコピーしてバックアップをする.....	77
(8) データベースとファイルの移動とサイトの切り替え.....	79
8-1) データベース書き換えのためのスクリプトを入手する.....	79
8-2) FTP で WordPress サイトをバックアップする.....	79
8-3) ファイルの移動をする.....	80
8-4) スクリプトでデータベースを書き換える.....	81

はじめに

この度は、本書をお読みいただきまして誠にありがとうございます。

本書では、HTML で作成された既存サイト（ホームページ）を WordPress 化する方法をご紹介します。

増加するスマートフォン（スマホ）からのアクセスに対応する意味においても WordPress 化の効果は高いです。

WordPress 化は、インストールが成功してしまえば半分は成功したようなものです。

ほとんどのレンタルサーバーには、簡単に WordPress をインストールする機能が備わっています。

そう考えますと、インストールには苦勞されることはないと思います。

そのため、後は次のようなことがポイントになります。

- 既存サイトのコンテンツをどのように移動するか？
- WordPress の設定はどのようにするか？
- 既存サイトからの切り替えをいかに短時間に済ませるか？

これらのポイントを抑えながら移行の手順をご紹介します。

*1 レンタルサーバーは、エックスサーバーを使って説明しております。

*2 移行対象のサイト（ホームページ）は、ショッピングサイトやプログラムが組み込まれてないシンプルなホームページが対象になります。

*3 この書籍を参考にして実施された作業において、いかなる問題が生じても当方は免責とさせていただきます。あくまで自己責任にて作業をお願い致します。

以下のサイトで、このマニュアルの内容をわかりやすく説明した「動画」のプレゼントしています。

動画をご覧になりながらお読みいただくとよりわかりやすいです。

<http://ssw2005.net/wp2015>

(1) 移行の手順理解と現行サイトのバックアップ

1-1) 移行手順

それでは、移行の手順をざっとご説明します。

既存の HTML で作ったサイトを WordPress 化しますが、そのために、まず既存サイトの下に「wp」という名前でフォルダを作ります。（フォルダの名称は任意です。）

既存サイトが「<http://www.shvideo.biz/>」の場合は、「<http://www.shvideo.biz/wp/>」となります。

このフォルダの中に WordPress をインストールして既存サイトのコンテンツをコピーして WordPress 化されたサイトを作ります。

「wp」フォルダへインストールした WordPress へ既存サイトのコンテンツ（ページ）全て入力する訳です。

そして、すべて入力が終わったら、既存サイトとの切り替えを行います。

具体的には、既存サイトの HTML などをすべて削除して、そこに「wp」フォルダに作成したファイルを移動します。

その後、データベース一括書き換えをツールを使って行って URL を一気に書き換えます。

これで、作業が完了します。

では、実際に詳しい手順をご紹介します。

1-2) FTP ソフトを設定する

FTP ソフトとは、レンタルサーバーにファイルを転送するためのものです。

「FileZilla」という FTP ソフトをイチオシします。

FTP ソフトにはいろいろありますが、WordPress の引っ越しをするならこれがオススメです。

理由は、WordPress のファイルは数が多く、全体のサイズも大きいので途中でエラーが起きやすいのですが、この FileZilla は途中でエラーになることが少ないからです。

他の FTP ソフトだとエラーになることが多々ありますので、得にこだわりのない場合は FileZilla を

使ってください。

なお、Windows でも Mac でも同じソフトがあります。

【FileZilla】

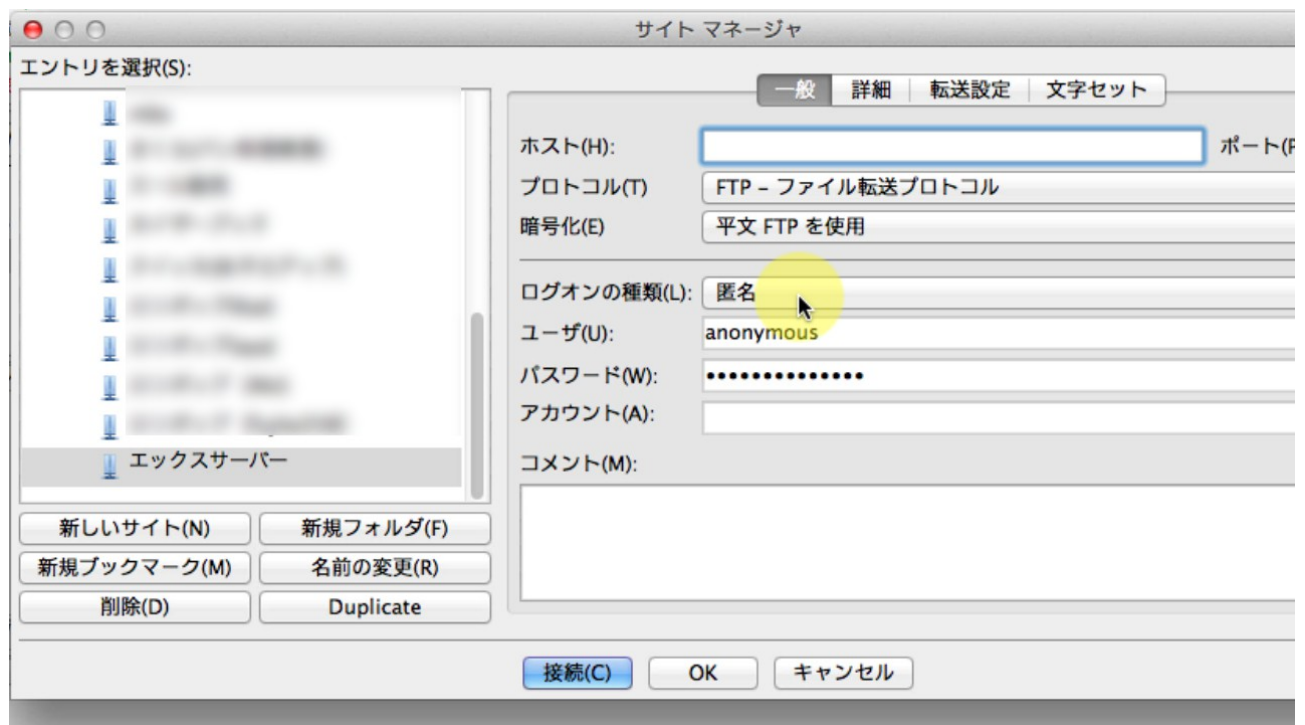
<http://osdn.jp/projects/filezilla/>

1-3) サーバーのファイルをバックアップする

FileZilla を使って、既存サイトのバックアップをします。

サイトマネージャを開いて、新しいサイトをクリックし、適当に名前を入れます。

右側の一般で、ホスト、ログインの種類、ユーザ、パスワードの4箇所を変更します。



ここで設定する値は、エクスサーバーの場合は以下です。

サーバーを契約した直後に送ってくるメールで「Xserver サーバアカウント設定完了のお知らせ（試用期間）」というのがありますが、そこにこのような記載があります。

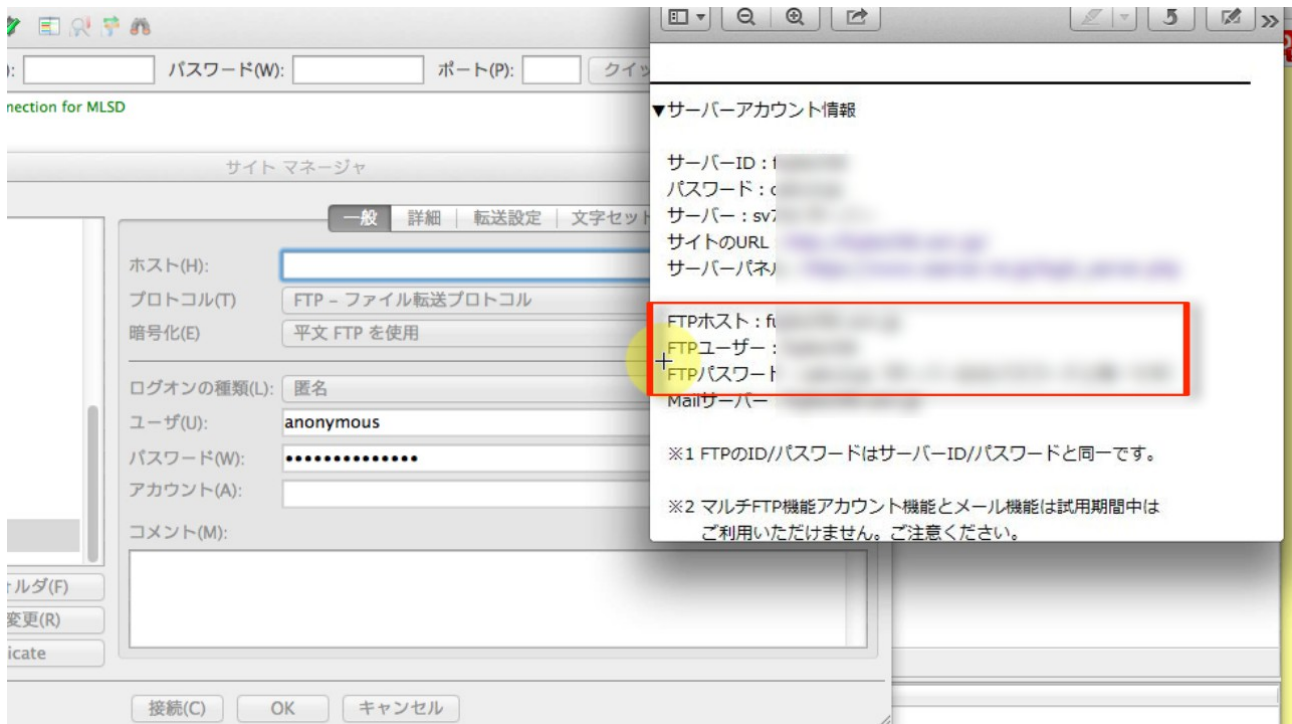
▼「サーバーアカウント情報」の中に

FTP ホスト:

ユーザー:

パスワード:

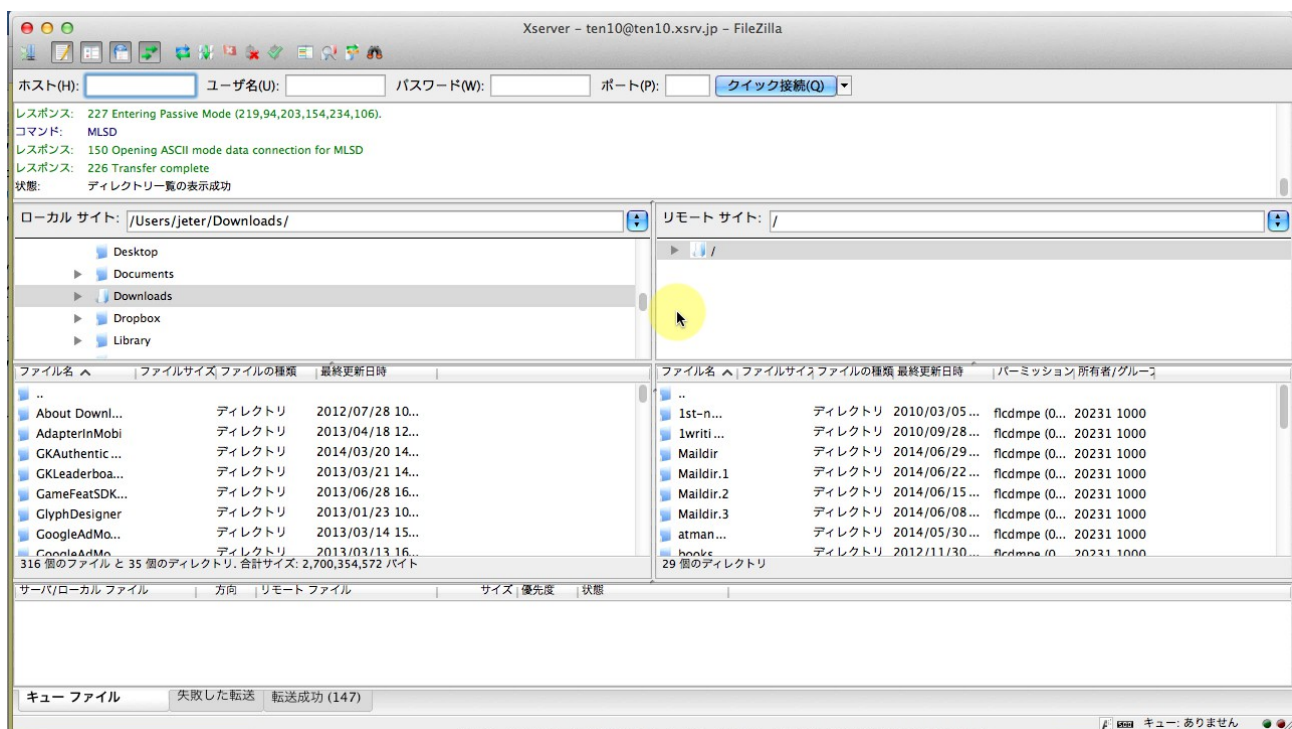
があり、それぞれが、ホスト、ユーザ、パスワードに対応します。



ログオンの種類は、通常にします。

設定が終わったら「接続」をクリックします。

このように表示されます。



ここから、既存サイトが保存されている場所を探します。

そして、自分の PC 側に適当にフォルダを作って、ここにダウンロードをします。

ダウンロードが終わりましたら次の作業に進みます。

【ご注意】

もし、このバックアップができなければ、この後の作業を進めないでください。

この作業ができたということは、FTP でのファイル転送が成功したことになりますがこの作業ができないと継続しても意味がないからです。

必ず、この作業ができることを確認してから次章の引っ越し作業を続けてください。

(2) 移行を効率的に進めるための最低限の原稿の作成

2-1) 最低限の原稿とは

移行を効率的に進めるための原稿を作成します。

原稿とは、最低限の情報で次の項目になります。

- (1) サイトタイトル
- (2) サイト説明文
- (3) メニュー
- (4) ページタイトル

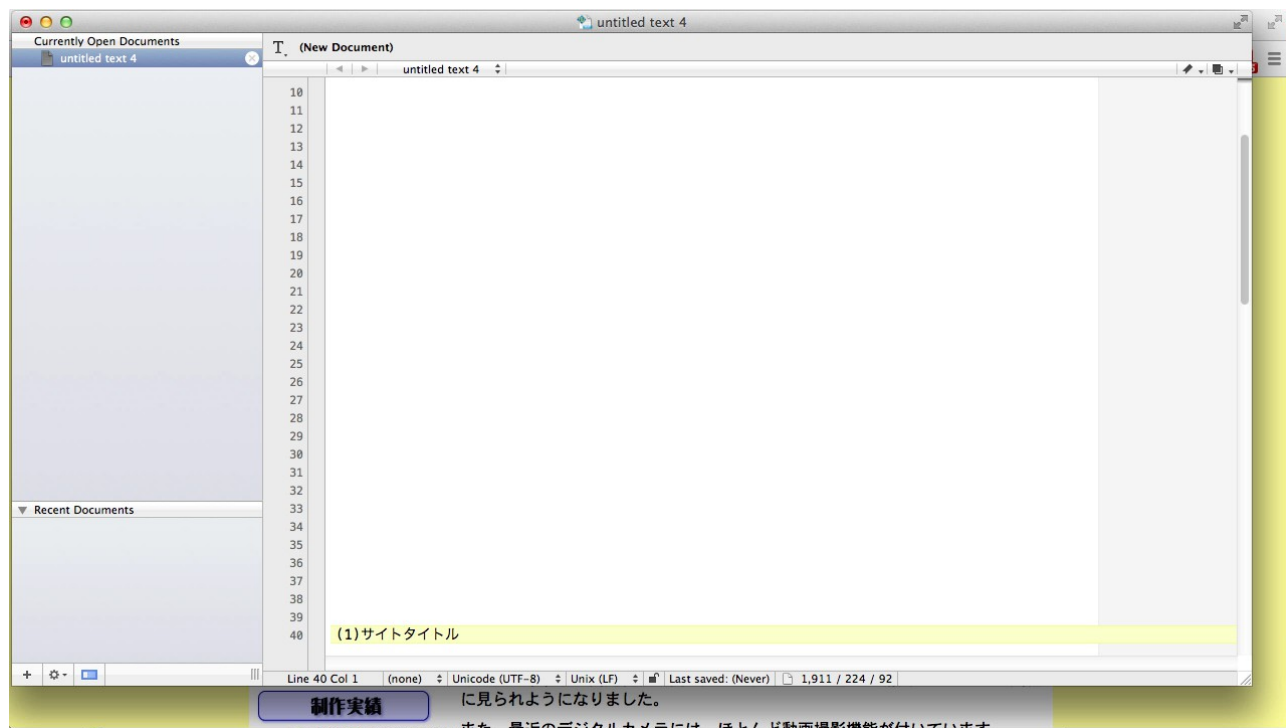
ご覧頂くと分かりますが、新たに作る必要はなく、既存サイトからそのまま持ってくればいいだけの情報です。

テキストファイルにこれらの情報をまとめておくと後の作業が効率的に進められます。

2-2) 既存サイトから情報をコピーする

テキストエディタをご準備してください。

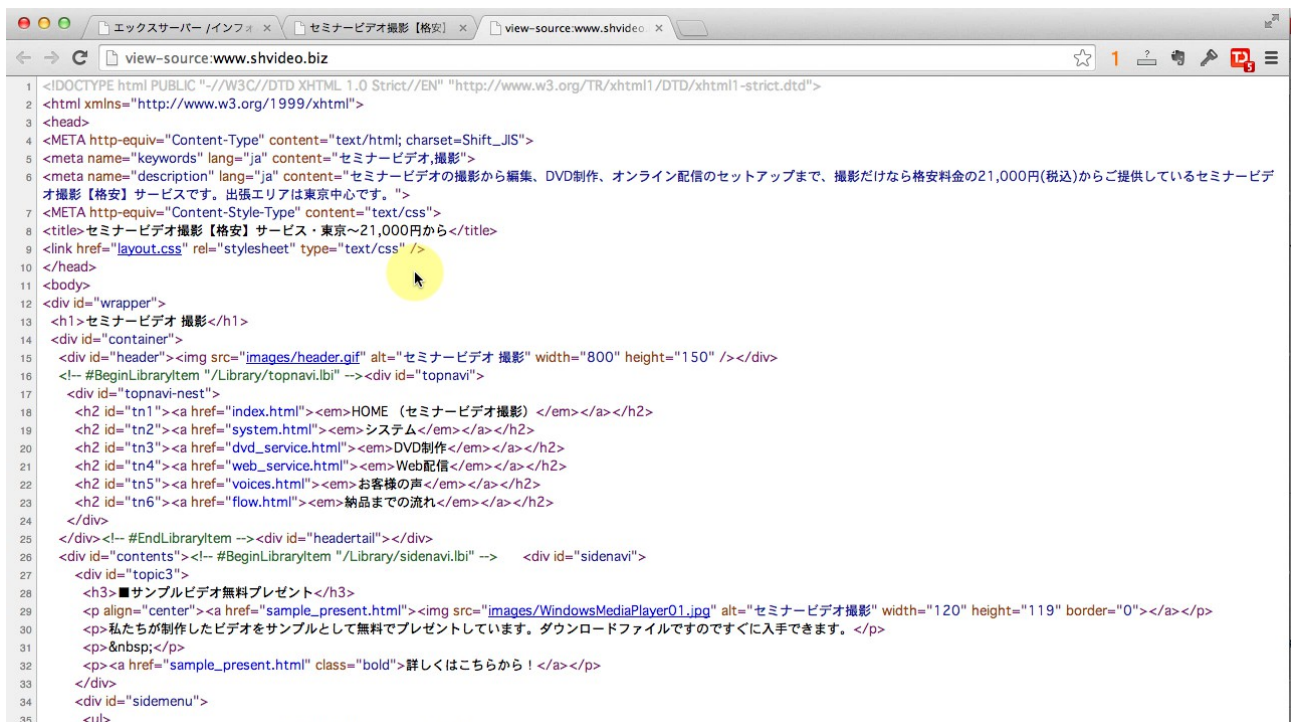
Windows ならメモ帳、Mac ならテキストエディットで十分です。



まず、既存サイトを表示して、上記の情報をコピーしていきます。

移行するサイトをブラウザで表示します。

HTML を表示したいので、Chrome であれば”ページのソースを表示”を選びます。



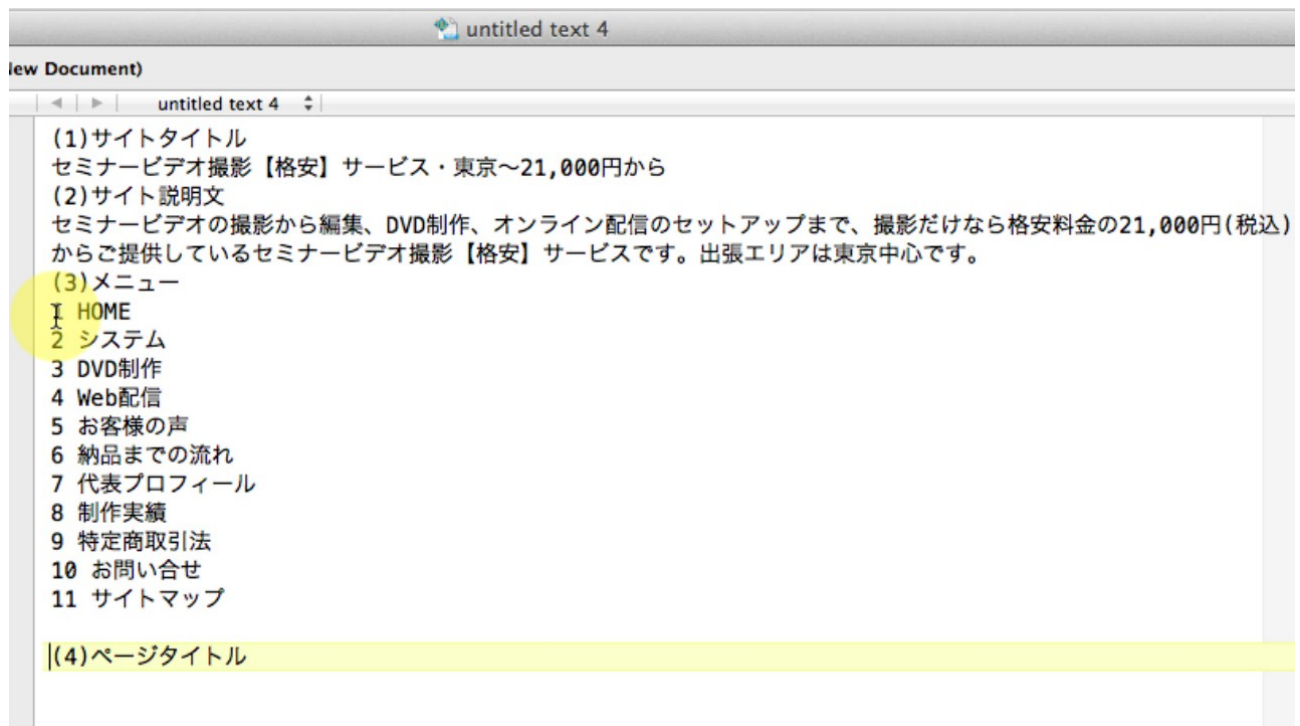
HTML にある title タグからタイトルをコピーします。

つぎに、meta description からサイト説明文をコピーします。

次に、コピーできればメニューをコピーします。

無理な場合は、ブラウザでの表示を見ながらテキストエディタに打ち込みます。

ここで、メニューには順番号を振っておきます。



メニューの最後に、既存サイトになくても、サイトマップというメニューも作っておいてください。

次にページタイトルですが、これはメニューに対応していますので1つずつメニューページを開きながらやっていきます。

まず、ホームですが、トップに表示されるページですので、ページタイトルはサイトタイトルと同じとなりますからいりません。

その後は、メニューをクリックして対象のページを開き、先ほどと同様に HTML を表示し、title タグからコピーしてきます。

また、この際に、html のファイル名も控えておいてください。

それと、meta discription をページごとに変えている場合はこれもコピーしておきます。

からご提供しているセミナービデオ撮影【格安】サービスです。出張エリアは東京中心です。

(3)メニュー

- 1 HOME
- 2 システム
- 3 DVD制作
- 4 Web配信
- 5 お客様の声
- 6 納品までの流れ
- 7 代表プロフィール
- 8 制作実績
- 9 特定商取引法
- 10 お問い合わせ
- 11 サイトマップ

(4)ページタイトル

2 システム | セミナービデオ撮影【格安】サービス system

セミナービデオの撮影から編集、DVD制作、オンライン配信のセットアップまで、撮影だけなら格安料金の21,000円(税込)からご提供しているセミナービデオ撮影【格安】サービスです。出張エリアは東京中心です。システムについてのページです。

3

この手順を、すべてのメニューに対してそれぞれ行っていきます。

なお、ページタイトルとサイトタイトルですが、文字数が29文字を超えている場合は、今のGoogleで表示される限界が28文字ぐらいですので長さを調整しておいてください。

サイト説明文の方は、135文字ぐらいまで大丈夫なようですのでこちらも必要に応じて調整をします。

(3) レンタルサーバーでの WordPress のインストール

この章では、レンタルサーバーの機能を使つての WordPress のインストールの方法をします。

「エックスサーバー」というレンタルサーバーでの操作方法のご説明になりますが他のレンタルサーバーでも理屈は同じです。

まず、ログインして、サーバーパネルの画面を表示します。



次に、設定対象のドメインを変更します。

もちろん、WordPress 化するサイトのドメインを選びます。

次に「自動インストール」といメニューをクリックし、「プログラムにインストール」というリンクをクリックします。

【設定対象ドメインデータ】

ドメイン:	fujita358.xsrv.jp
サブドメイン	0
メールアカウント	0
FTPアカウント	1

ACCOUNT

- パスワード変更
- サーバー情報
- バックアップ

MAIL

- メールアカウント設定
- 迷惑メール設定
- 自動応答設定
- メールの振り分け
- メールリングリスト・メールマガジン

DOMAIN

- ドメイン設定
- サブドメイン設定
- DNSレコード設定
- SSL設定
- 動作確認URL

STATISTICS

- アクセス統計
- ログファイル

FTP

- FTPアカウント設定
- FTP制限設定

SSH

- SSH設定

DATABASE

- MySQL5設定
- phpmyadmin(MySQL5)

HOME PAGE

- アクセス制限
- エラーページ設定
- MIME設定
- Cron設定
- サイト転送設定
- アクセス拒否設定
- CGIツール
- 自動インストール
- PHP Ver. 切替
- php.ini設定
- PHP高速化設定 (FastCGI化)
- WordPress セキュリティ設定

【アカウントデータ】

サーバーID:	fujita358
ご利用プラン	X10
ディスク使用量	733.8MB
空き容量	199266.2MB
ドメイン	6
サブドメイン	0
メールアカウント	0
FTPアカウント	2

この中に「WordPress 日本語版」というのがありますので「インストール設定」ボタンをクリックします。

osCommerce 日本語版	<p>PHP + MySQL を使用したショッピングサイト構築システム。 高機能で使いやすいオンラインショップの構築、在庫管理、配送管理などが行えます。アフィリエイトやポイント制への対応も可能です。詳細な情報については こちら。</p> <p>インストール設定</p>
Zen Cart 日本語版	<p>PHP + MySQL を使用したショッピングサイト構築システム。 osCommerce を元に作成されており、同様に高機能で使いやすいオンラインショップの構築、在庫管理、配送管理などが行えます。詳細な情報については こちら。</p> <p>インストール設定</p>
WordPress 日本語版	<p>PHP + MySQL を使用したブログシステム。 海外で非常に高い人気を持つブログツールであり、日本でもその機能性と使いやすさで人気急上昇しています。詳細な情報については こちら。</p> <p>インストール設定</p>
PukiWiki	<p>PHP を使用したWikiツール。 誰でも編集可能なウェブサイトを作成するためのツールです。ドキュメントサイトなどの構築に利用することができます。詳細な情報については こちら。</p> <p>インストール設定</p>

画面が切り替わって、WordPress をインストールするのに必要な情報を入力する画面になります。

なお、このような表示が出ている場合は、先に PHP のバージョンを変更します。

今からインストールする WordPress のバージョンに PHP のバージョンが対応していないからです。

PHP のバージョンは、特にこだわりがなければ、“推奨”を選んで変更します。

“最新”を選ばないのは、安定性を優先するためです。

より新しいバージョンの方が安定している訳ではないからです。

戻りまして、必要な情報を設定していきます。

X ServerPanel

トップ マニュアル ログアウト

★現在の設定対象ドメイン：fujita358.xsrv.jp

自動インストール

→ XOOPSなどをワンクリックで設置・インストールすることができます。

[【インストール済みプログラムの一覧】](#) [【プログラムのインストール】](#)

スクリプト	WordPress 日本語版
バージョン	3.9.1
インストールURL	http:// <input type="text" value="fujita358.xsrv.jp"/> / <input type="text" value="wp"/>
ブログ名	<input type="text" value="セミナービデオ撮影【H"/>
ユーザ名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
メールアドレス	<input type="text"/>
データベース	<input checked="" type="radio"/> 自動でデータベースを生成する <input type="radio"/> 作成済みのデータベースを利用する Wordpressに利用するデータベースの作成や設定が自動的に行われます。 ※本機能を用いて生成されたデータベースに関する情報は、 「自動インストール完了画面」に表示されます

インストール URL は、何も入力しなければルートにインストールされます。

ここがポイントになります。

今回は、既存サイトの下に「wp」というフォルダを作ってそちらにインストールします。

そして、「wp」フォルダで既存サイトの WordPress 化が終わったら、すべてのファイルをルートにコピーして既存の HTML サイトを削除します。

改めて手順をおさらいにすることになりますが、この手順で既存サイトを WordPress へ移行することになります。

次に、ブログ名ですが、これがサイト名になります。

準備していた最低限の原稿の出番です。

原稿のサイトタイトルを入力します。

次に、ユーザー名とパスワードです。

ユーザー名とパスワードは、不正侵入をされないためにも第三者に簡単に推測されないような値をしっかりと設定する必要があります。

次に、メールアドレスは、このサイトの代表となるメールアドレスを設定しておくと思います。

つまり、ビジネスでお客さんとやり取りするのに使うメールアドレスが決まっていればここに設定するといいです。

理由は、ここに設定したメールアドレスが、WordPressやプラグインの機能で、いろいろな箇所で自動で挿入されることがあるので、ここにちゃんと設定しておくことで再設定の手間が省けるからです。

ちなみに、インストール先のドメインのメールアドレスでなくても問題ありません。

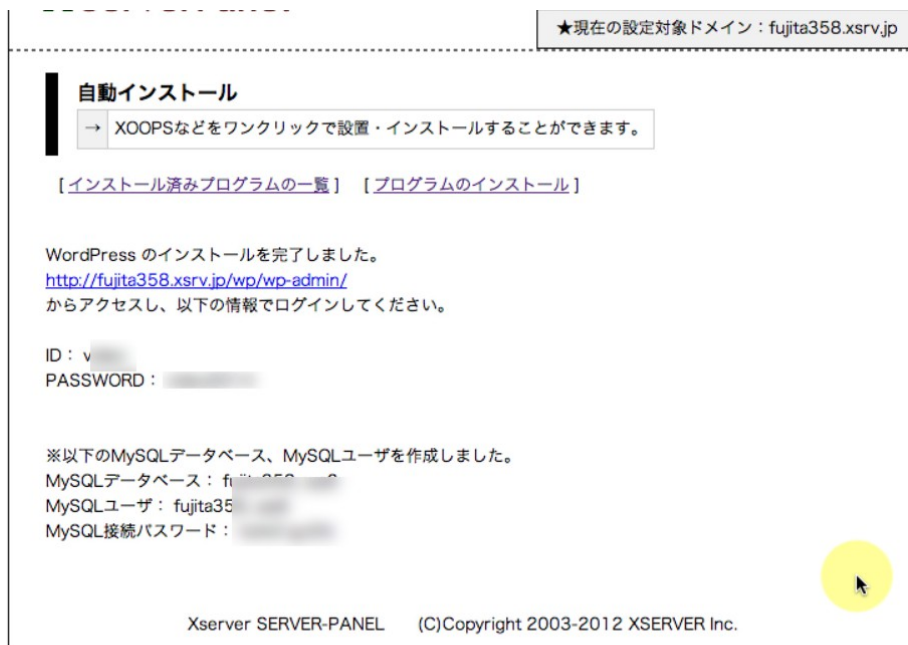
また、後からでも変更可能です。

次に、データベースは、「自動でデータベースを作成する」を選ぶのが一番簡単です。

「作成済み」を選ぶ場合には、手動でデータベースの設定をしておく必要がありますので初心者の方は自動を選んでください。

以上、入力が終わりましたら「インストール（確認）」をクリックします。

これでインストールは完了です。



(4) WordPress の基本設定

4-1) 管理画面を開く

インストールが終わったら管理画面にログインします。

管理画面の URL は、インストール後に表示されます。

ログイン情報（ユーザー名、パスワード）は、ご自身で設定された値を使います。

管理画面にログインできると以下のような画面が開きます。



4-2) 検索エンジン対策として表示設定を行う

左にメニューがありますが、「設定」の中に「表示設定」というのがありますのでクリックします。

この、表示設定画面の一番下に、「検索エンジンの表示」というのがあります。

ここの「検索エンジンがサイトをインデックスできないようにする」のチェックをしてください。

引っ越し作業用として、既存サイトの下にフォルダを作ってワードプレスをインストールしていますが、チェックを入れないと作業用のファイルが検索エンジンにインデックスされてしまいます。

同じサイトに複数のコンテンツ（ページ）があると都合が悪いので作業をしている間はチェックを入れ

てインデックスを回避します。



そして、こちらのフォルダで WordPress 化を終わらせた後に、今の HTML があるルートにすべてのファイルを移動しますが、移動が終わったらこのチェックを外すことになります。

チェックをいれしたら、いったん「変更を保存」ボタンをクリックします。

4-3) デフォルトで入っている、投稿、固定ページ、コメントを削除する

次ですが、左メニューから、それぞれ投稿、固定ページ、コメントをクリックするとそれぞれの一覧が表示されます。

たとえば、投稿ですとサンプルの投稿が入っていますので、マウスをタイトルにオーバーしてゴミ箱をクリックして削除しておきます。



固定ページ、コメントについても同様です。

4-4) ユーザーのセキュリティ設定

ログイン用に作ったユーザー名がわかると、セキュリティ上問題があります。

ところが、投稿をするこのログイン用のユーザー名がそのまま公開ページに表示されてしまいます。

そこで、一番最初に、この表示されるユーザー名を変更します。

「ユーザー一覧」を開いて、ログイン用のユーザーの編集画面を開きます。

”名前”の”ユーザー名”を編集して、ログインユーザー名とは全くことなる値に変更します。

変更したら、”ブログ上の表示名”という項目があり変更できるので、今作ったユーザー名に変更しておきます。

4-5) ディスカッション設定でコメントを使えなくする

WordPress の困った点としては、インストール直後の設定を放置しておくとうすぐにスパムコメントが投稿されることがあります。

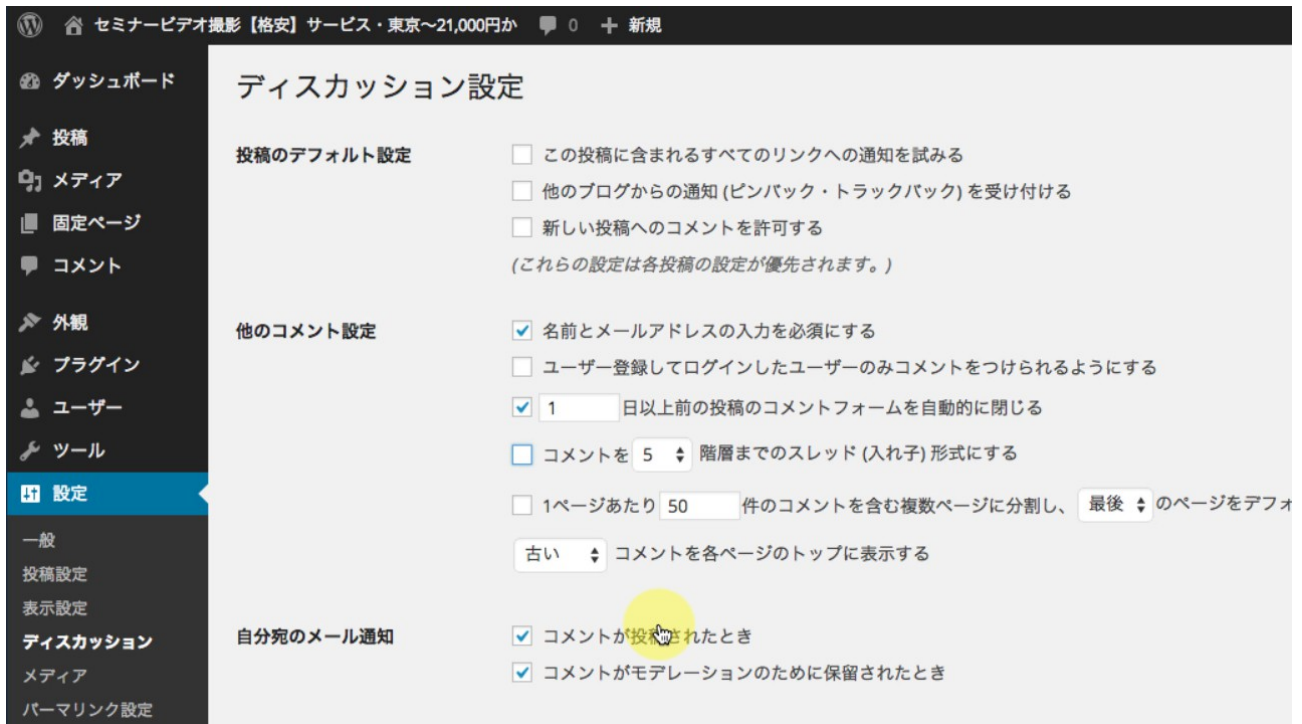
今回のように、ホームページとして WordPress を使う場合はコメント機能は必要ない場合が多いと思います。

そこで、コメントをクローズして使えないようにするには次の設定をします。

「設定ーディスカッション設定」を表示して、投稿のデフォルト設定のチェックをすべて外します。

一応これでコメントはクローズになりましたが、念を入れて他の設定もします。

他のコメント設定で、最短の日数でコメントフォームを閉じるようにし、スレッドについてはチェックを外します。



さらに、コメント表示条件で、管理者の承認が必要になるようにし、承認済み投稿者であってもその後のコメントを表示させないようにします。

これでコメント機能はクローズになりましたので「変更を保存」ボタンをクリックします。

4-6) その他の細かい設定

【一般】

「設定ー一般」で開くと、上から2番目に”キャッチフレーズ”という欄があります。

初期値が”Just another WordPress site”なので、ここに最低限の原稿に用意したサイトの説明文を入れます。

【パーマリンク設定】

ここは、ホームページの各ページに使う固定ページの設定ではなく、投稿ページの方の設定です。

投稿ページというのは、いわゆるブログ機能だと思ってください。

「設定－パーマリンク設定」で開くと、「共通設定」で URL の表示方法が選択できます。

最初の設定のままだでも問題ないですが、お勧めは”カスタム構造”に、投稿 ID を設定してください。

入力欄には、「/%post_id%」を入力します。

変更したら、「変更を保存」でセーブします。



4-7) メニューを使って固定ページを作る

次に、「固定ページ」を作っていきます。

この固定ページが、サイトを構成するページになります。

タイトルに、最低限の原稿として作った”ページタイトル”を入力して本文は後回しにして、どんどん空ページを作っていきます。

原稿をテキストファイルで開いて、この先の作業を進めるといいと思います。

まず、管理画面の「固定ページ－新規追加」で編集画面を開きます。

一番上のタイトル欄に”ページタイトル”を入力してから右の青いボタン「公開」をクリックします。

少し遅れたタイミングでタイトルの下に、「パーマリンク」が表示されます。

このパーマリンクには、自動でタイトルと同じ文字が全角日本語で入力されますが、放置すると URL が

とても長くなりますので半角英数字に変えることをオススメします。

そこで、原稿作成時に控えておいてもらった元の HTML ファイルと同じ名前を設定します。

もちろん、同じでなくても構いませんが、作業効率を優先させる場合はこの方法がオススメです。

ただ、全角日本語が入るのはいろいろ面倒だと私は思っていますので、短い半角文字に変えておくことをオススメしています。

半角文字に変えたら「OK」をクリックします。

次に、右側にある”ページ属性”の中の”順序”にメニューの順番通りの数字を入れておきます。

この数字を入れておくと、後の工程で作成する”サイトマップ”で順番通りに並んでくれるので便利です。

また、管理ページで固定ページ一覧を表示した場合にも順番通りに並びますので管理がしやすくなります。

以上で、「更新」ボタンをクリックします。



ここでの作業では、タイトルだけで中身のない固定ページをどんどん作成し本文の編集は後で行います。

同じように、残りのメニューの”ページタイトル”だけ入れて保存しておきます。

この作業で空のページを作ることで、メニューに対応したページが作られるので、続く工程で”テーマのメニュー”が設定できます。

4-8) テーマのメニューを作成する

全てのメニューに対応する空ページができたなら、“テーマのメニュー”を作成します。

メニューは、上部のグローバルメニューとサイドのサイドバーメニューの2種類を作ります。

管理画面の“外観-メニュー”を選び、右側の“メニューの名前”に“グローバル”と入れます。



左下に“固定ページ”があり、この中に今作成した空ページのタイトルが並んでいます。

この中からグローバルに入れるべきページを選んで、「メニューに追加」をクリックするとメニューに追加されます。

メニューを編集

位置の管理

以下のメニューを編集するか[新規メニューを作成](#)してください。

固定ページ

最近

すべて表示

検索

【格安】サービス

☐ Web配信 | セミナービデオ撮影

【格安】サービス

☐ DVD制作 | セミナービデオ撮影

【格安】サービス

☐ システム | セミナービデオ撮影

【格安】サービス

☐ ホーム

すべて選択

メニューに追加

リンク

▼

カテゴリー

▼

メニューの名前

グローバル

メニューを保存

メニュー構造

各項目をドラッグして順番を変更します。追加の設定オプションを表示するには、項目の右側にある矢印をクリックします。

納品までの流れ | セミナービデオ撮影【格安】サービス

固定ページ ▼

お客様の声 | セミナービデオ撮影【格安】サービス

固定ページ ▼

Web配信 | セミナービデオ撮影【格安】サービス

固定ページ ▼

DVD制作 | セミナービデオ撮影【格安】サービス

固定ページ ▼

システム | セミナービデオ撮影【格安】サービス

固定ページ ▼

ページタイトルとメニューが違う場合は、ラベルで変更することができます。

終わったら、青いボタン「メニューを保存」をクリックします。

今度は、「新規メニューを作成」リンクをクリックしてメニューのタブを追加し、「サイド」と入力して作成し、固定ページを同様に追加してから「メニューを保存」をクリックします。

(5) 必要なプラグインのインストール

WordPress の大きな特徴の 1 つが、プラグインを使って機能をどんどん追加できることがあります。

ただ、たくさんのプラグインがあるため、どれを使えばいいのか悩みどころです。

そこで、WordPress をホームページとして運用する場合に、私がお勧めしているプラグインをご紹介します。

- All in One SEO Pack
- BackWPup
- Broken Link Checker
- Contact Form 7
- Google Analytics Dashboard
- Image Widget
- Pretty Link Lite
- PS Auto Sitemap
- Redirection
- TinyMCE Advanced
- TinyMCE Clear
- Ultimate Google Analytics

ビジネスの内容によってはこれら以外を使うこともあると思いますが、ご紹介したプラグインは邪魔にならない限りインストールしてもらって損はないと思います。

(0) WP Multibyte Patch

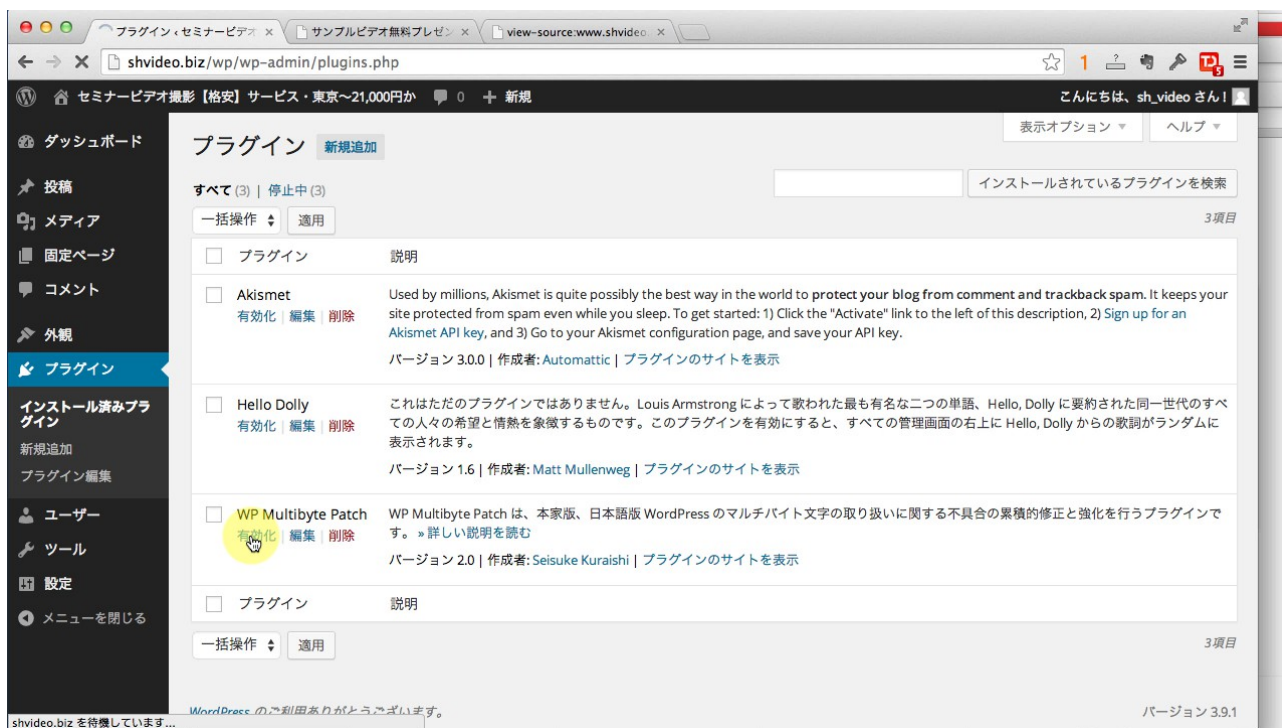
管理画面のプラグインをクリックすると、最初からいくつかのプラグインがインストールされています。

自動インストールの場合は、先ほどご紹介したプラグインもすでにインストールされていることもあります。

最初から入っているもので「WP Multibyte Patch」というプラグインがあります。

これは、WordPress を使う上で、マルチバイト文字、つまり日本語の文字に最適化してくれるプラグインです。

最初は、無効になっていますが基本的には有効にしておいた方がいいので、「有効化」をクリックしてください。



たまに他のプラグインとの相性が悪い場合があり、無効にした方がいいケースもあります。

その場合は、このプラグインを無効にすると動作が安定することがありますので、そのことだけ頭に入れておいてください。

(1) All in One SEO Pack

「All in One SEO Pack」がインストールされていないければまずインストールをします。

管理画面のプラグインの新規追加で「All in One SEO Pack」を入力して、「プラグイン検索」します。



”いますぐインストール”リンクをクリックすると、インストールが始まりますので終わったら有効化します。

これで、プラグインのインストールと有効化が終わりました。

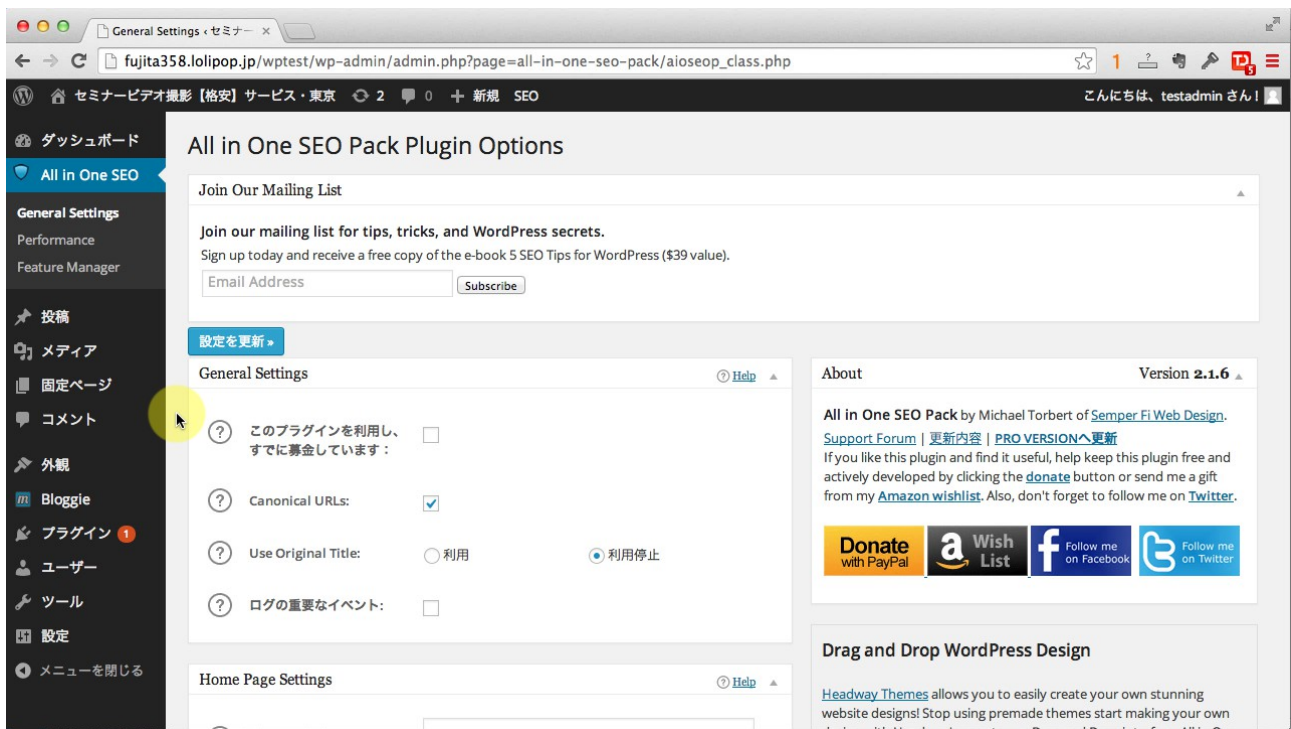
その他のプラグインも同様の方法でインストールと有効化を行います。

このプラグイン「All in One SEO Pack」は非常に有名なプラグインで、WordPressで作ったホームページのSEO内部対策をするために使います。

このプラグインではいろいろなことができますが、次の2つの用途で使われるといいと思います。。

1つ目は、サイト全体のページタイトルの表示形式を決めること、そして、固定ページ毎の説明文やキーワードの設定をすることです。

その設定をするために、左側にある”All in One SEO”というメニューから入ります。



上から順番に設定していきます。

(i) General Settings

すべてデフォルトのままで変更しないで大丈夫です。

“Use Original Title:”を”利用停止”にしておくことで、後の”Home Page Settings”が有効になります。

(ii) Home Page Settings

“ホームタイトル”に、原稿で作った”サイトタイトル”を入力します。

“ホーム詳細”には、同じく”サイト説明文”を入力します。

“ホームキーワード”には、狙うキーワードを半角カンマで区切って入力します。

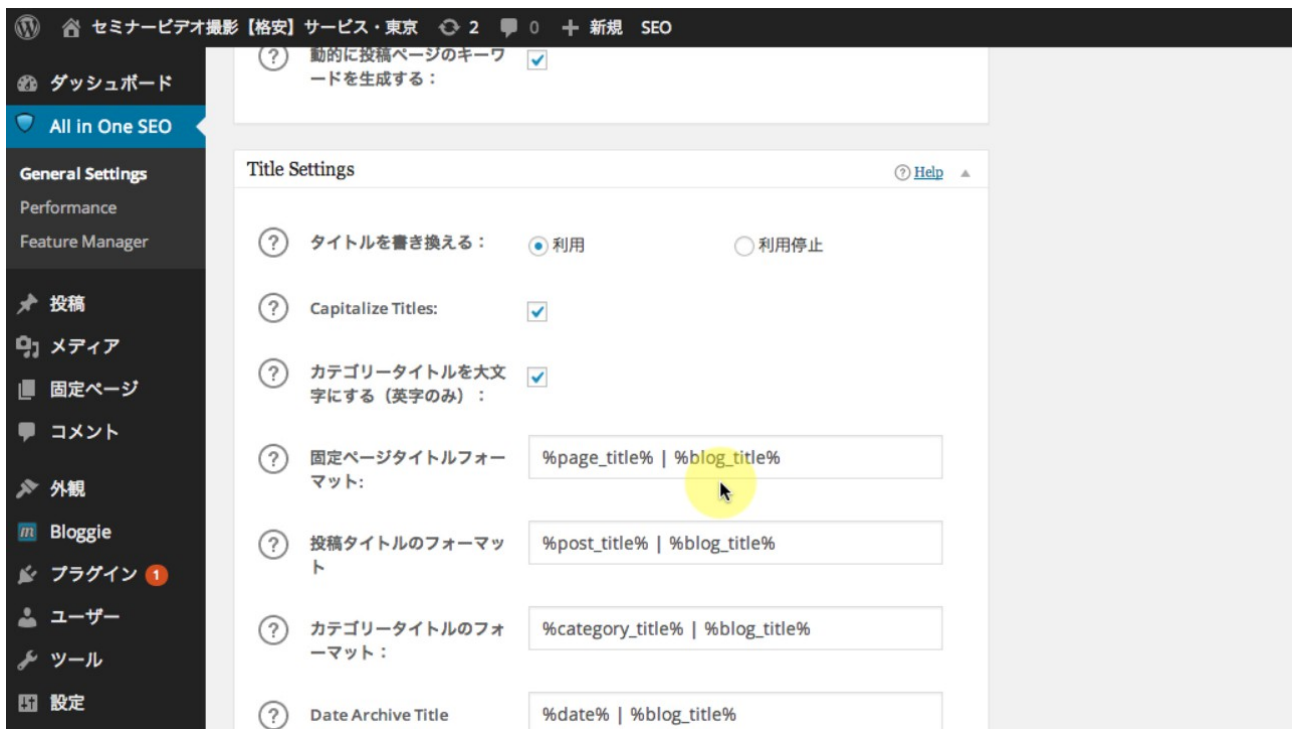
(iii) Keyword Settings

デフォルトのままで大丈夫です。

ほとんど SEO には影響しないと言われています。

(iv) Title Settings

ここで、最初に申し上げた”サイト全体のページタイトルの表示形式”が設定です。



“固定ページタイトルフォーマット:”からずっと下がって”検索時のタイトルフォーマット:”までの、“%blog_title%”を書き換えます。

これは、例えば”固定ページタイトルフォーマット:”の場合は、タイトルが“%page_title% | %blog_title%”となっています。

ページタイトルの後に縦棒(|)が表示されてサイトタイトルが表示されることになります。

サイトタイトルは、28文字ぐらいで作っていると思います。

そのため、page_title (はページタイトル) 、と blog_title (サイトタイトル) の2つが連続して並ぶと非常に長いページタイトルになってしまいます。

そこで後半の blog_title の方を省略するのが、ここでの書き換えの目的です。

書き換え方としては、サイトタイトルが文字数を目一杯28文字使った以下のような場合は

ホームページ集客〜絶対に外せない3つのノウハウを徹底解説

この中からキーワードだけを残して他を省略して

ホームページ集客

といった感じにします。

そのためには、“%blog_title%”を”ホームページ集客”に書き換えて

”%page_title% | %blog_title%”

↓

”%page_title% | ホームページ集客

とします。



これで、それぞれの固定ページのタイトルは、そのページタイトルに続けて、縦棒、そして”ホームページ集客”が表示されます。

(v) その他

以下の項目は、デフォルトのまま変更しません。

- Custom Post Type Settings
- Display Settings
- Webmaster Verification
- Google Settings
- Noindex Settings
- Advanced Settings

(vi) ページごとの設定

ページ毎の説明文やキーワードの設定をする場合は、固定ページの編集画面で行います。

編集エリアの下に、「All in One SEO Pack」の設定箇所がありますので、そこで設定するとその値が、このページで設定した全体設定よりも優先されます。

(2) BackWPup

「BackWPup」がインストールされていなければ同様にインストールしてください。

このプラグインは、WordPress で作ったサイトのバックアップをしてくれるプラグインです。

ほとんどのレンタルサーバーは、サーバー会社の方でバックアップをしています。

そのため、全てのデータが突然サーバーごと消えてしまう可能性は低いです。

それでも、やはり自分自身で、WordPress のデータを自分の PC やクラウドに保存しておくことをお勧めします。

WordPress のバックアップについては、通常の HTML で作ったホームページのようにファイルだけを保存すればいいといった単純なモノではありません。

WordPress は、一般の html で作成したサイトと違ってデータベースにデータを保存しています。

“BackWPup”は、このデータベースにあるデータのバックアップと、その他画像ファイルなどをまとめてバックアップして保存してくれます。

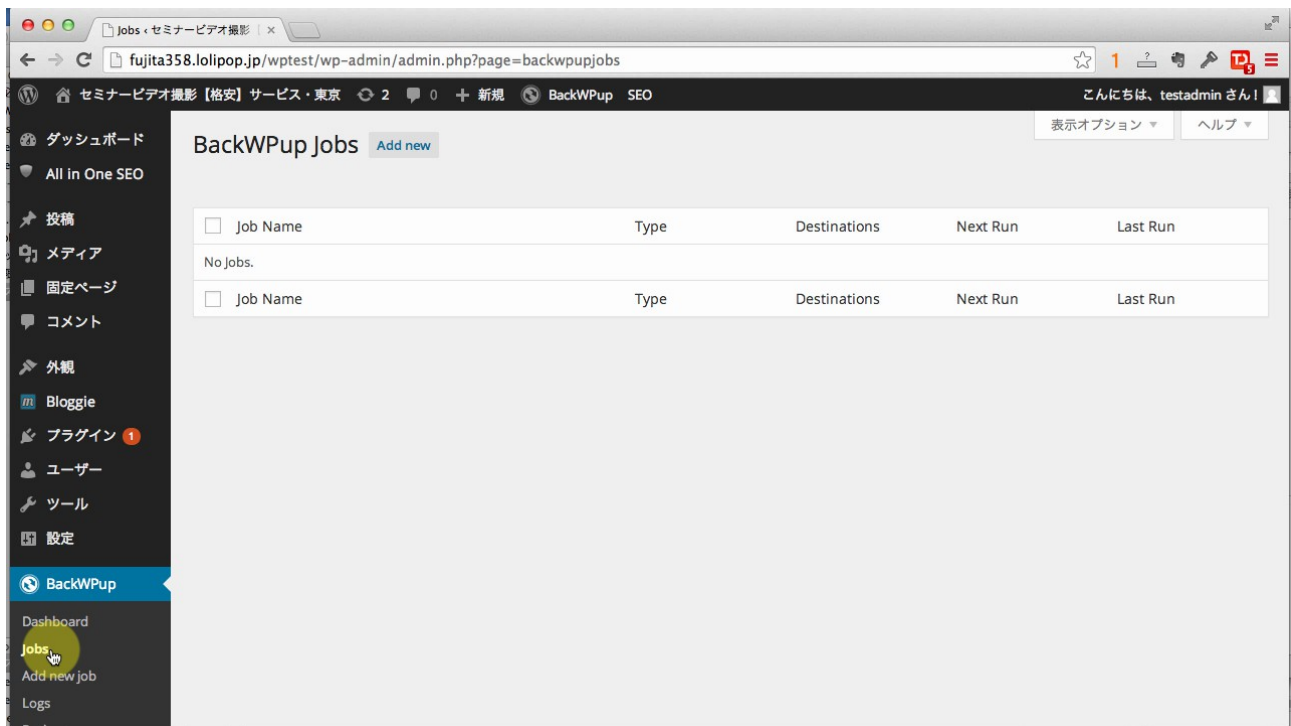
保存先は、いろいろと選択が可能で、例えばメールでファイルを送信したり、あるいは ftp で自分のレンタルサーバーにアップロードしたりできます。

保存先のオススメとしては、無料で使えるクラウドストレージ、例えば Dropbox などです。

以下、Dropbox にバックアップファイルを保存する方法をご紹介しますが、他のクラウドストレージでもやることはほぼ同じです。

では、設定をしますが、管理画面に「BackWpUp」というメニューができています。

この中から Jobs を選んで、AddNew ボタンをクリックします。



General タブから設定します。

Job Name に適当に名前を入力します。

Archive name のファイル名をどのバックアップファイルか分かるように変えた方がいいと思います。

たとえば、「shvideo」のような感じですね。

Archive Format は、個人的には Zip 形式が無難だと思っています。

「Job Destination」は、Dropbox というクラウドストレージに保存することにします。

「Back to Dropbox」を選びます。

Dropbox 以外の他のクラウドサービスがこちらで選択できることが分かります。

「Log Files」の「Send log to e-mail address」には、バックアップ処理の内容をメールで送ってもらうためにメールアドレスを設定します。

「E-Mail FROM Field」には、送信元を入力します。
特に変更する必要はありませんが、サイト名がそのまま入りますので短く省略した方がいいかもしれません。

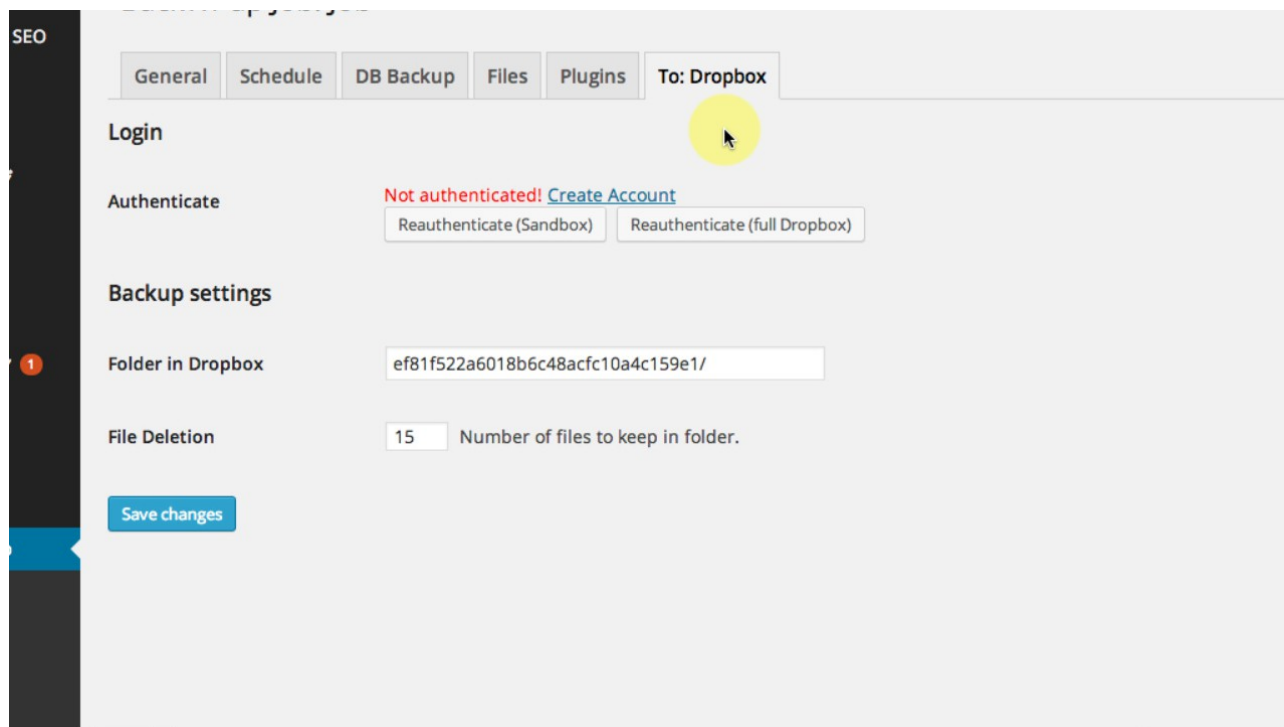
「Errors only」にチェックを入れると、エラーの場合だけメールが送きます。

次に「Schedule」タブを設定します。

「Start Job」で「with WordPress cron」を選ぶと、このように下に設定画面が表示されます。

これが、自動起動の設定になりますので「Scheduler」で、「daily」を選択して、「3」、「0」とすると「毎日深夜3時」に実行されます。

次に「To: Dropbox」タブを設定します。



これは「General」タブで「Back to Dropbox」を選択することで表示されるタブです。

最初は、赤字で「Not authenticated」と表示されていますので、Dropbox のアカウントを使って認証をします。

アカウントを持っていない場合は「Create Account」から作成して処理を進められます。

既にアカウントを持っている場合は、「Reauthenticate(Sandbox)」または「Reauthenticate(full Dropbox)」を選んで認証画面に移動します。

どちらでも問題ありませんが、Sandbox の場合、BackWPup のアクセスを Dropbox の一部に限定できるためセキュリティが高まります。

認証が成功すると、文字が変わって「Authenticated!」と表示されるので残りの設定をします。

「Folder in Dropbox」には、バックアップファイルを保存するフォルダ名を入力します。どのサイトのバックアップを保存しているかすぐに分かるような名前が好ましいと思います。

「File Deletion」は、バックアップファイルの世代管理の世代数です。適当に決めてください。

以上で、すべての設定が終わりましたので、青いボタン「Save Changes」をクリックして設定を保存します。

後は、設定した時間になればバックアップ処理が自動的に起動しますが、その前に手動で動作検証を試みます。

「BackWPup」の「Jobs」をクリックすると設定一覧が表示されますので、設定の上にカーソルをオーバーします。

「Run Now」が表示されますのでクリックしますとバックアップが実行されます。

問題なければ無事にバックアップ成功します。

(3) Broken Link Checker

「Broken Link Chekker」がインストールされていなければ同様にインストールしてください。

このプラグインは、一定時間ごとにサイト内のページからのリンクにエラーがないかをチェックしてくれます。

自分のサイト内のリンクエラーも見つけてくれるので便利ですが、外部のサイトへのリンクのチェックをしてくれるところが便利です。

外部のリンクは、何らかの理由でサイトが閉鎖されることがあるので手動でチェックにするには限界がありますのでこのプラグインはとても有効です。

また、SEO 的には、サイト内にリンク切れ、つまりリンクエラーがあると検索エンジンからの評価を落とす原因になりますのでこのプラグインで常時チェックすることには非常に意味があります。

設定としては得がなく、プラグインを有効化したタイミングでリンクのチェックを開始してくれます。

操作方法としては、「Broken Link Checker」を開くと、最初の「一般」タブにサイト内にリンクエラーがあるとエラーが表示されます。



リンクをクリックするとエラーの一覧が表示されるので、その場でURLを変更したり、あるいはリンクを解除したり、あるいはなんらかの理由でリンクエラーでない場合はリンクエラーにならないようにできます。

問題のあるページに移動することなく、この画面から直接編集して行うことができます。

もちろん、右側のリンクから対象のページの編集画面に移動することも可能です。

また、ダッシュボードを見てもらうと、Broken Link Checker 情報の表示が追加されていますので常時チェック状況がわかります。

(4) Contact Form 7

「Contact Form 7」がインストールされていなければ同様にインストールしてください。

このプラグインを使うと、ホームページにお問い合わせフォームを簡単に追加できます。

お問い合わせフォームの設置は、パソコンに詳しくない方が、ホームページ制作の際に必ず苦勞することと言えます。

一方、お問い合わせフォームは、ホームページで集客をしようとするなら必ず必要になるツールですので、フォームの設置作業は避けようがありません。

よく、フォームが設置できないために、ページに直接メールアドレスのリンクを貼り付けているのを見かけますが、このやり方はいろいろな意味でよくありません。

また、外部サービスの無料フォームを使っている方も多いですが、アクセスが外部サイトに移動してし

まうのもあまりよくありません。

大げさでなく、Contact Form 7 を使えばこういった苦勞が劇的に軽減されます。

プラグインを有効化すると、管理画面の上部に”お問い合わせ”というメニューが表示されます。

クリックすると設定画面が表示されて、すでに例として”コンタクトフォーム 1”というフォームが登録されていると思います。

実は、このまま、このフォームを使うことも出来ます。

まず、初期設定の中身を理解して自分なりの設定に変更してみましょう。

まず、登録されている”コンタクトフォーム 1”をクリックして編集画面を開きます。

コンタクトフォームの編集 新規追加 表示オプション ▼

[使い方](#) - [FAQ](#) - [サポート](#) - [寄付する](#)

コンタクトフォーム 1 複製 | 削除

このコードをコピーして、投稿、ページ、またはテキストウィジェットの本文内にペーストしてください。

```
[contact-form-7 id="41" title="コンタクトフォーム 1"]
```

保存

フォーム ▲

タグの作成 ▼

<p>お名前 (必須)

[text* your-name] </p>

<p>メールアドレス (必須)

[email* your-email] </p>

<p>題名

[text your-subject] </p>

<p>メッセージ本文

[textarea your-message] </p>

<p>[submit "送信"]</p>

初期段階では、”お名前、メールアドレス、題名、メッセージ本文”をフォームで送信できるようになっています。

画面をスクロールすると、”メール”の設定があります。

この設定は、管理者向けに送るメールの設定です。

”宛先”には、WordPress をインストールした際に登録したメールアドレスが自動的に入力されます。

差出人には、フォームで入力された”お名前とメールアドレス”が自動的に入るようになっています。

件名には、こちらもフォームで入力された”題名”が自動的に入るようになっています。

右側を見ると、メール本文の初期値が入っています。

内容を見るとわかりますが、フォームで入力された項目が設定されているのがわかります。

以上のこれらの項目は、自由に変更ができますので、使い勝手がいいように変更ができます。

また、同様に”メール(2)”の方を使うに設定すると、設定が画面が表示されて、フォーム送信者に対しての自動返信メールを送ることができます。

では早速、固定ページにお問い合わせフォームを貼り付けて動作確認をしてみてください。

フォームを設置したい固定ページを開く前に、一番上の”このコードをコピーして、・・・”の下にある文字列をコピーします。

そして、固定ページを開いて貼り付けるだけです。



これで、ページにフォームが表示されて実際に送信が可能になります。

固定ページを更新して、実際に表示してみると既にお問い合わせフォームが設置されていることがわかれると思います。

設定に問題がなければ実際に送れますし、管理者へのメールと確認メールが届くはずです。

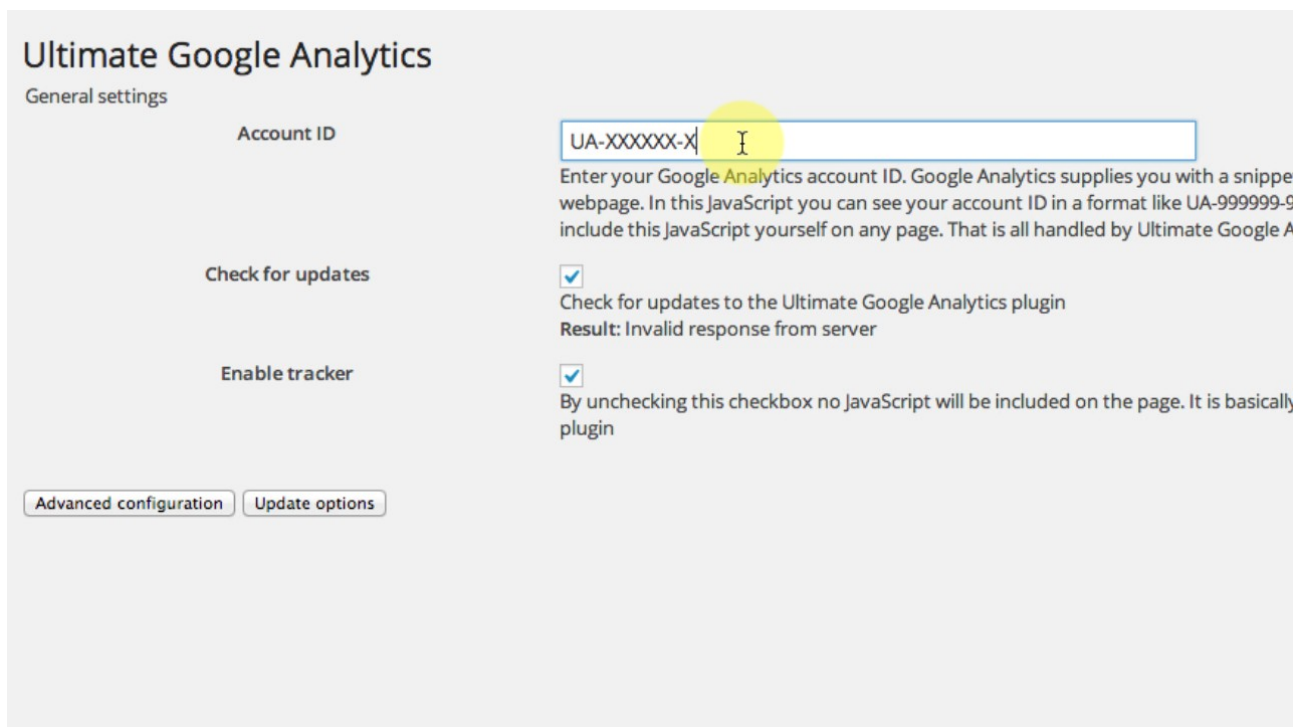
(5) Ultimate Google Analytics

「Ultimate Google Analytics」がインストールされていなければ同様にインストールしてください。

このプラグインは、“Google Analytics”というアクセス解析サービスを使う場合の設定が楽に行えるものです。

そのため、あらかじめ、“Google Analytics”のアカウントを取得して UA から始まる “Account ID” をメモしておきます。

インストールを行って有効化すると、“設定”の中に “Ultimate GA” というメニューが表示されます。



The screenshot shows the 'Ultimate Google Analytics' settings interface. On the left, under 'General settings', are labels for 'Account ID', 'Check for updates', and 'Enable tracker'. The 'Account ID' field on the right contains 'UA-XXXXXX-X' and is highlighted with a yellow circle. Below this field is explanatory text about the account ID format. The 'Check for updates' checkbox is checked, with a message 'Result: Invalid response from server'. The 'Enable tracker' checkbox is also checked, with a note that unchecking it would prevent JavaScript from being included. At the bottom are 'Advanced configuration' and 'Update options' buttons.

クリックすると “Account ID” を設定する場所がありますので、先ほどメモした ID を入力します。

そして、一番下の 「Update options」 ボタンをクリックすれば完了です。

これで、すべてのページに対してのアクセス情報が記録されていきますので、後は Google Analytics の管理画面で確認できます。

また、“Google Analytics Dashboard” もインストールしていればダッシュボードや固定ページや投稿の一覧でもアクセス数が把握できます。

(6) Google Analytics Dashboard

「Google Analytics Dashboard」がインストールされていなければ同様にインストールしてください。

ホームページで集客をする場合は、数字の分析が非常に重要です。そのため、アクセス解析を定期的にチェックする必要があるのですが、この作業がおっくうになるケースがしばしばあります。

一番の理由は、アクセス解析のサイトに移動して内容を確認する必要があるからです。

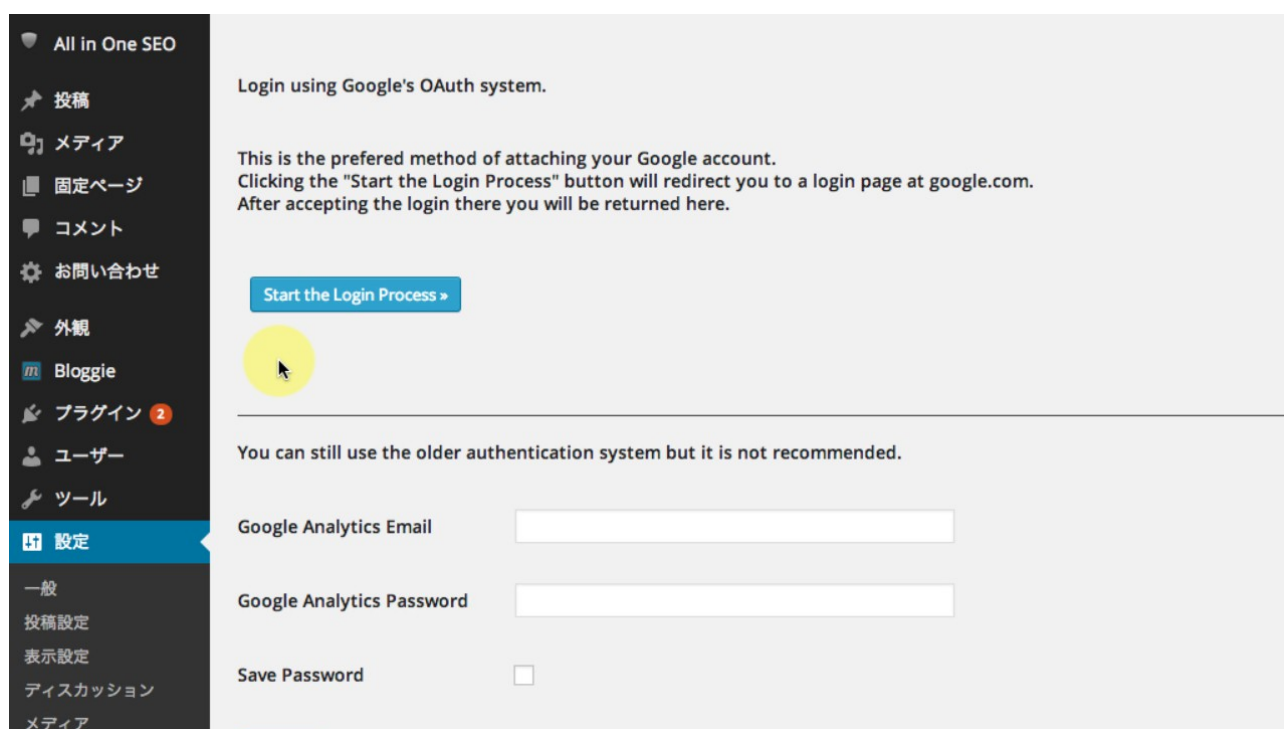
このプラグインをインストールすると、あくまで概要ではありますが、アクセス解析に集計されている最新の値を管理画面のダッシュボードで確認することができます。

正確な数字を分析するためには、アクセス解析のページに移動する必要がありますが、概要だけでも常に見られるといろいろな利点があります。

また、このプラグインは、サマリーがダッシュボードに表示されるだけでなく、固定ページ、投稿ページの一覧で、ページごとのアクセス数のグラフを見ることができます。

設定方法ですが、あらかじめ別のタブでアナリティクスにログインしておきます。

WP の管理画面に戻って「設定－GoogleAnalytics Dashboad」を開きます



認証をすると選択ができます。

保存して完了です。

これで、最新情報がダッシュボードと、投稿や固定ページの一覧で表示されます。

ダッシュボードで目立つ場所に移動すると見やすいかと思います。

(7) Image Widget

「Image Widget」がインストールされていなければ同様にインストールしてください。

このプラグインは、サイドバーに画像を貼り付けるときに便利です。

「外観→ウィジェット」から入ると、画像ウィジェットというのが追加されていますので、これを使います。



テキストウィジェットを使っても画像をサイドバーに表示できますが、この画像ウィジェットを使った方が遙かに簡単にできます。

(8) Pretty Link Lite

「Pretty Link Lite」がインストールされていなければ同様にインストールしてください。

このプラグインは、メルマガやブログ、ツイッターに貼り付けたリンクがクリックされた回数をお手軽に、集計してチェックすることができます。

Google アナリティクスでも調べられますが、こちらの方がはるかにお手軽です。

bit.ly などの短縮 URL サービスを使ってもクリック数のカウントはできますが、このプラグインで作る URL は、自分のドメインを使えます。

そのため、メルマガやブログに貼り付けてもリンク URL が怪しくありません。

手順としては、PrettyLink で集計用のリンクを作って、そのリンクから集計したい実体ページの方へ移動するように設定します。

このようにすると集計用のリンクが何回クリックされたかがカウントできます。

(9) PS Auto Sitemap

「PS Auto Sitemap」がインストールされていなければ同様にインストールしてください。

このプラグインは、サイトマップページを自動的に作ってくれます。

サイトマップページがあると、検索エンジンはサイト全体のページをくまなくクロールしてインデックスしてくれます。

どちらかという、サイトマップの役割は、ユーザーのために操作性を向上させることよりも検索エンジン対策の意味合いが強いです。

サイト全体のページをまとめてリンクしている、こういったページがないと、特に作ったばかりのサイトの場合は不利になると考えてもいいです。

では、設定をしていきます。

”設定”の中に”PS Auto Sitemap”というメニューが表示されます。

設定方法は、このページの一番下にある”ご利用方法”にも書いてありますがやることは簡単です。



ここに表記してある”タグ”をコピーして固定ページに貼り付けるだけです。

貼り付けは、ビジュアル編集のままで貼り付けられませんので、編集モードを”（テキスト）HTMLモード”変更してから貼り付けます。



更新したら、今度は、固定ページの一覧を表示して、この固定ページの記事 ID をメモします。

一覧にマウスを持って行くと、Chrome の場合はリンクが下の方に表示されるので ID が分かります。

次に、「設定-PS Auto Sitemap」に戻ってきて、上から 4 番目ぐらいにある”サイトマップを表示する記事”にその番号を入力して青いボタン「変更を保存」します。

以上で、先ほど作った固定ページにはサイトマップが表示されます。

細かい設定がありますが、私はホームページとして使う場合は初期設定値から以下のように変更して使っています。

- ・投稿リストの出力 チェック外す
- ・先に出力すりリスト 固定ページにチェック
- ・除外記事 必要に応じて入力
- ・スタイルの変更 シンプル 2（これは趣味ですのでご自由に）
- ・著作権表示を非表示にする

変更してもう一度固定ページを表示し表示内容を確認しておきます。

(10) Redirection

「Redirection」がインストールされていないければ同様にインストールしてください。

このプラグインは、削除したページにアクセスが来た場合の”404 エラー”、つまり”PAGE NOT FOUND”を避けるために使います。

ページを削除したり、複数のページを統合したりした場合に、そのページへのアクセスを他のページにリダイレクトさせてエラーを防ぎます。

作ったばかりのサイトには用のないプラグインですが、それでも数ヶ月もホームページを運用しているとすぐに必要になります。

逆に、SEO でアクセスを集めるのであれば、すぐに使うぐらいページを新陳代謝させておく必要があります。

Google はアクセスの少ないページを多く持っているサイトの評価を落とす傾向がありますので、アクセスが少ないページは消してしまうなり、他のページに統合するなりがオススメです。

使い方は、「ツールーリディレクション」を開き新しい転送ルールを追加というところで削除した URL をソース URL に、転送先のページの URL をターゲット URL に入力するだけです。

一致条件、操作はそのまま 301 リダイレクトというページの引っ越しになります。

終わったら「新しい転送ルールを追加」をクリックします。

ちなみに、アクセスがあると、このページのヒット数にクリック数が集計されます。

(11) TinyMCE Advanced

「TinyMCE Advanced」がインストールされていなければ同様にインストールしてください。

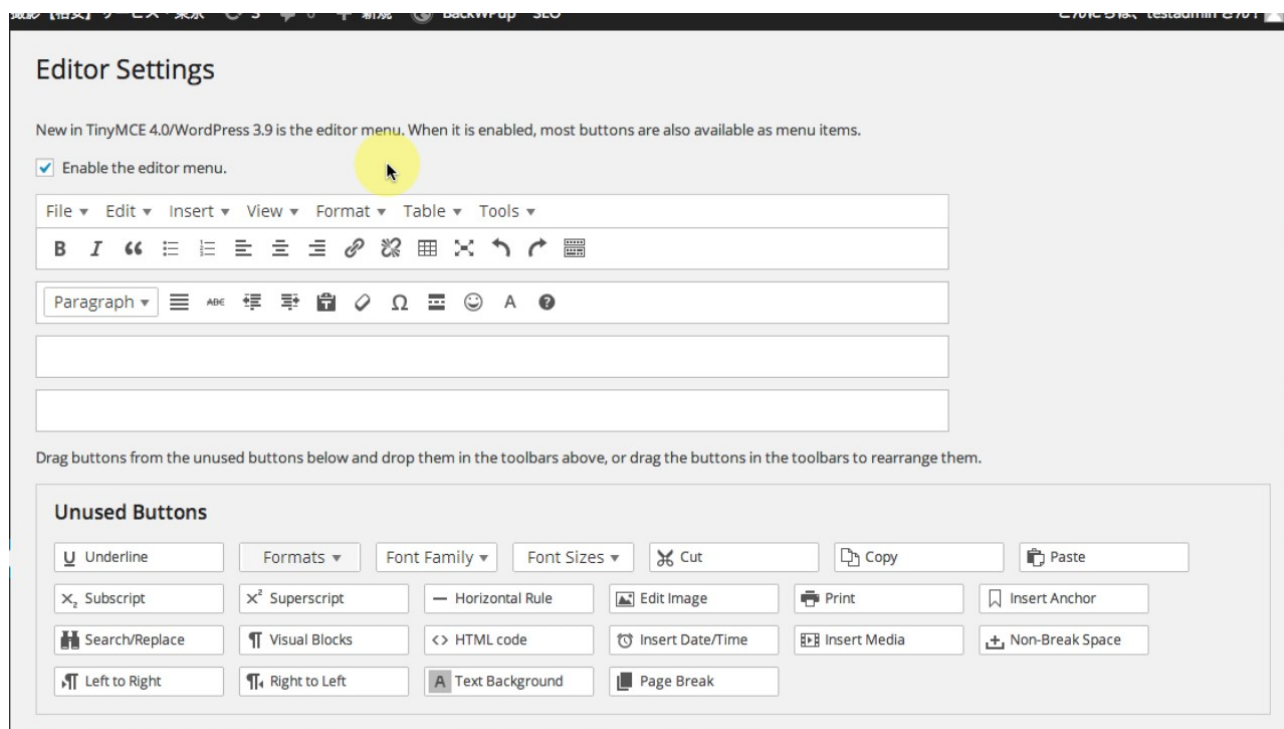
このプラグインは、固定ページや投稿を作成・編集する際に使うビジュアルエディタに機能を追加してくれるものです。

具体的には、ツールバーが強化され文字装飾の使い勝手が向上します。

たとえば、WordPress が元々提供してくれているビジュアルエディタでは作成が困難なテーブル（表）の作成もできるようになります。

インストールを行って有効化すると、“設定”の中に”TinyMCE Advanced”というメニューが表示されます。

クリックして設定画面に移動すると、上部にツールバー、下部にパーツが表示されていますので、必要なパーツを自由に配置するだけです。



「Save Changes」すると、固定ページのビジュアルエディタの方にツールバーとして表示されます。

強化されたツールバーをご覧いただければわかりますが、無料ブログを使ったことがある方なら違和感なくページを新規作成したり、あるいは編集したりできますし、普段ワードなどのワープロを使っている方も違和感がないと思います。

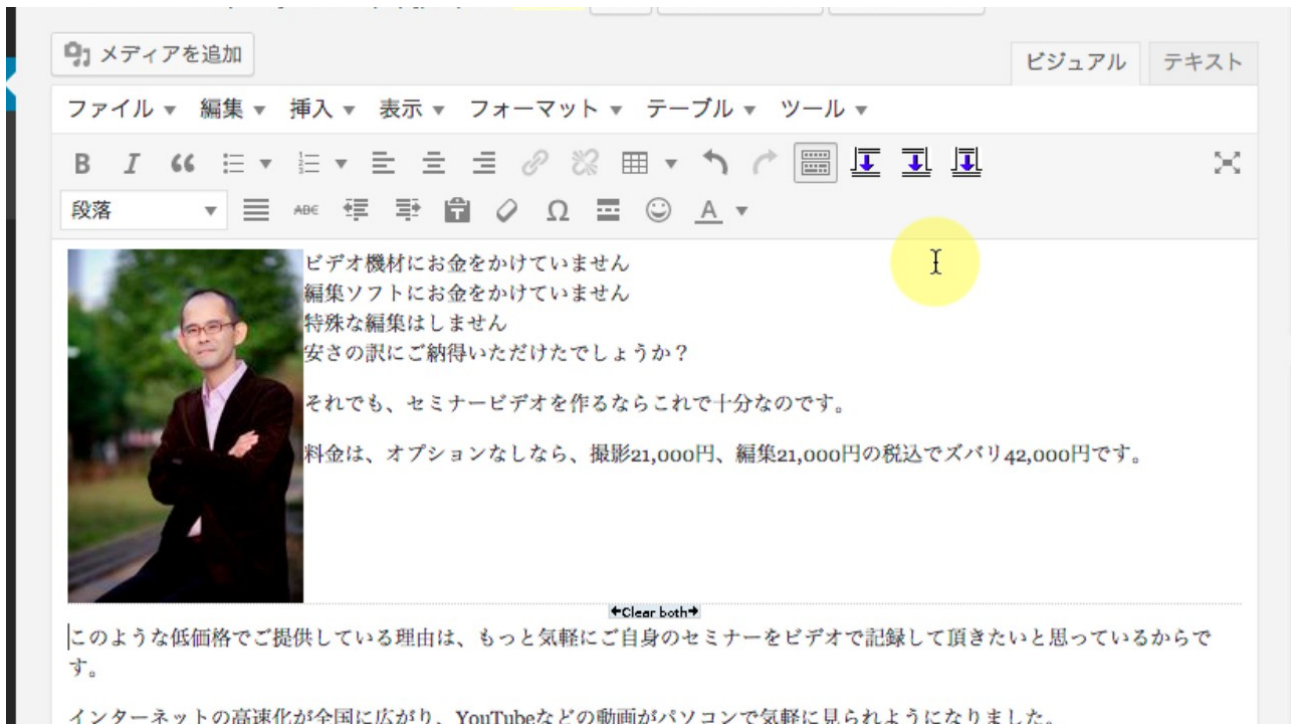
(12) TinyMCE Clear

「TinyMCE Clear」がインストールされていなければ同様にインストールしてください。

このプラグインは、ビジュアルエディタのツールバーに図形への回り込みを解除するためのボタンを3つ

追加してくれます。

プラグインを有効化するだけで、ツールバーにボタンが追加されます。



文中に画像を挿入すると回り込んで表示されるのですが、解除しないでそのままにしておくと、下の文章まで回り込んでしまって表示がガタガタになってしまいます。

ですので、画像を挿入した場合は基本的にこのアイコンを使って回り込みを解除するようにします。

ボタンは3つありますが、基本的には、右端の All を使って解除すれば大丈夫です。

(6) テーマ（テンプレート）の設定

6-1) テーマを選択する

テーマとは、WordPress のデザインを簡単に変更してくれるテンプレートのことです。

WordPress を使うメリットの1つが、このテーマによってデザインを簡単に変更できるということです。

テーマは何種類もあって、それぞれ微妙に使い方が異なりますが基本的な操作は同じです。

今回は、WordPress に最初からインストールされているテーマで、シンプルで使いやすい「Twenty Twelve」を使います。

他のテーマでも基本は同じですので応用ができると思います。

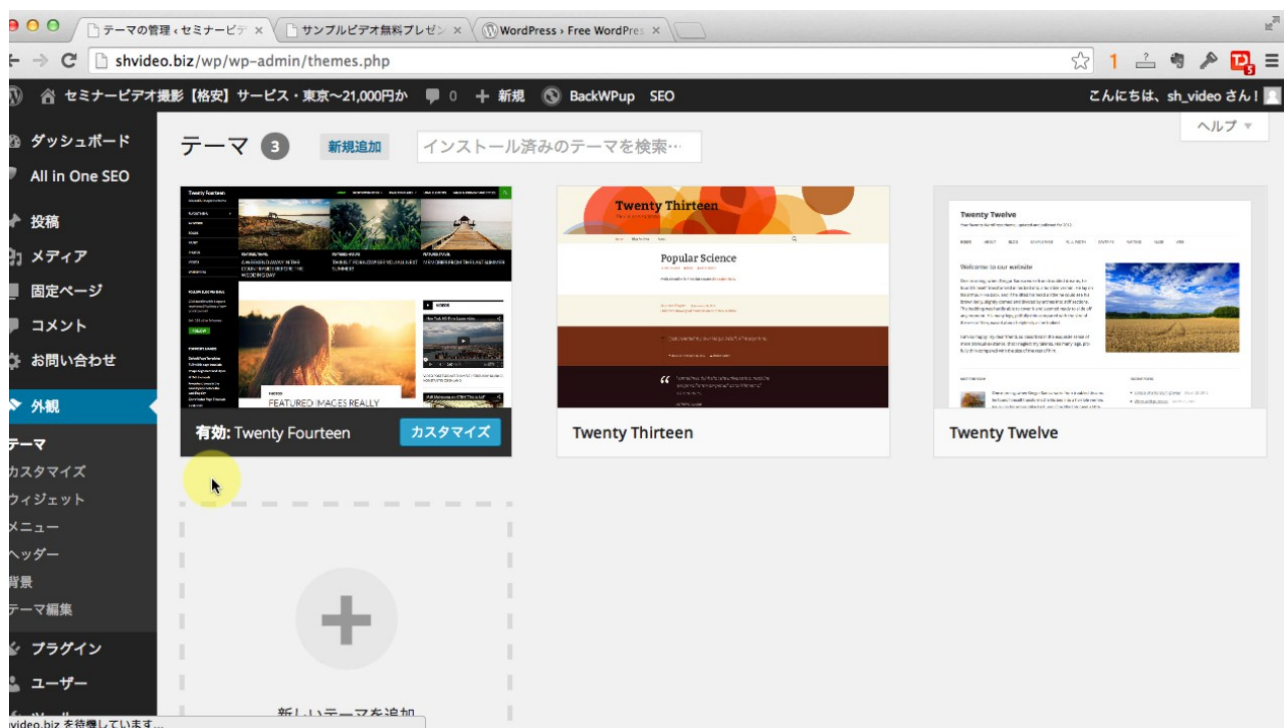
テーマの探し方は、ネット検索で自由に探してくる方法と、WordPress の公式テーマを使う方法があり、公式テーマの方がセキュリティ面で安全と言われています。

公式テーマは、「外観－テーマ」で新規追加とすると検索できます。

また「wordpress 公式テーマディレクトリ」というサイトがあるのでその中からも選べます。

<http://wordpress.org/themes/>

それでは、テーマを設定していきますので、管理画面のテーマから外観－テーマのページに入ります。



「Twenty Twelve」というテーマが既にありますので、「有効化」をクリックしてください。

もうページを見られますので、どのように表示されているか確認してみます。

6-2) メニューを作成する

外観→メニューを開いて、グローバルが選ばれていることを確認します。

そして、“メニュー設定”のテーマの位置でメインメニューにチェックを入れて「メニューを保存」をクリックします。



これで、一度ホームページの方を見えます。

メニューが配置されていることが分かります。

6-3) メディアに画像を追加する

ウィジェットを使って、サイドバーに画像を表示するためにあらかじめ画像をメディアに追加しておきます。

メディアに追加しなくても、直接読み込むこともできるのですが、とりあえずメディアにも入れておきます。

方法は、シンプルで「メディア→新規追加」でファイルを選択するだけです。



ファイルを選択しなくても、他のウィンドウからドラッグしてもメディアを追加できます。

6-4) 最初から入っているウィジェットを削除する

ウィジェットを追加していきます。

ウィジェットというのは、主にサイドバーやフッター部分に配置できる部品のことです。

”外観-ウィジェット”を開きます。

初期段階で右側の”Sidebar”にいくつかウィジェットが入っていますがとりあえず削除します。

最初から入っているこれらのウィジェットは、ブログサイトを作ることを想定して入っているものがほとんどですのでとりあえず全部消しておきます。

削除の方法は、ウィジェットをドラッグして左側の利用できるウィジェットにドロップするだけです。



6-5) 画像ウィジェットを追加する

テーマ「Twenty Twelve」には、「メインサイドバー」、「フロントページウィジェットエリア」が2つあり、都合3箇所のウィジェット配置箇所があります。

2つの「フロントページウィジェットエリア」は、固定ページを編集する際に選ぶテンプレートで「フロントページテンプレート」を使う则表示されますが、今回はすべての固定ページを「デフォルトテンプレート」で作ります。

そのため、メインサイドバーだけを設定していきます。

サイドバーに画像を表示するために、「画像ウィジェット」を使います。

そこで、ウィジェットで「画像ウィジェット」を選んでサイドバーにドロップします。



画像を選びますが、ここで先ほどメディアライブラリにアップしておいた画像を選択して「ウィジェットに挿入」します。

タイトルとキャプションだけ設定し、リンクは後で設定します。

また、サイズは挿入した画像によって決めることになりますが、画像のサイズが小さい場合などはフルサイズにします。

配置は、中央にしていったん「保存」します。

リンクを設定するために、リンク先の固定ページを一覧から選んで開きます。

編集画面でパーマリンクをコピーします。

外観ウィジェットに戻って、先ほどの画像ウィジェットを開き、リンクのところに貼り付けます。

HTML を入力すれば、キャプションに設定した文章中にもリンクが設定できます。

例えば、”詳しくはこちらから”の文字からリンクする場合は以下の様な HTML にします。

>> 詳しくはこちらから



以上で、画像の設定ができたので実際に見てみましょう。

画像が表示されて説明文があり、リンクも設定されていれば大丈夫です。

6-6) カスタムメニュー

次に、サイドバーにもメニューを表示してみます。

サイトのコンテンツ（ページ）が増えてくると、グローバルメニューだけでは収まらないことが多くなりますのでサイドメニューも必要になります。

あらかじめ”サイド”という名前でメニューを作っておきます。

作り方は、グローバルメニューと同じです。

外観、ウィジェットで左から”カスタムメニュー”を選んでサイドバーにドラッグします。

タイトルも入力できますが、今回は入力しないで設定してみます。

そして、メニュー選択で、作っておいた”サイド”を選びます。



「保存」してから、サイトを表示してメニューが配置ができていることを確認します。

6-7) フロントページの表示

先ほどからホームページを開くと表示がおかしいと思われていると思います。

これは、フロントページの設定をしていないからなので設定をします。

設定→表示設定を開きます。

フロントページ、つまりホームページで最初に表示されるページについては”最新の投稿”になっています。

これは、ブログとして使う場合の設定ですのでここを変更します。

固定ページを選んで、フロントページで、固定ページで作成したトップページに当たるホームを選びます。

表示設定

フロントページの表示

☐ 最新の投稿

☒ 固定ページ (以下を選択)

フロントページ:

投稿ページ:

1ページに表示する最大投稿数 件

RSS/Atom フィードで表示する最新の投稿数 項目

RSS/Atom フィードでの各投稿の表示

☒ 全文を表示

☐ 抜粋のみを表示

検索エンジンでの表示

☒ 検索エンジンがサイトをインデックスしないようにする

このリクエストを尊重するかどうかは検索エンジンの設定によります。

選択

- DVD制作 | セミナービデオ撮影【格安】サービス
- Web配信 | セミナービデオ撮影【格安】サービス
- お問い合わせ | セミナービデオ撮影【格安】サービス
- お客様の声 | セミナービデオ撮影【格安】サービス
- サイトマップ | セミナービデオ撮影【格安】サービス
- サンプルビデオ無料プレゼント | セミナービデオ撮影【格安】サービス
- システム | セミナービデオ撮影【格安】サービス
- スタッフ | セミナービデオ撮影【格安】サービス
- ホーム**
- 制作実績 | セミナービデオ撮影【格安】サービス
- 特定商取引法 | セミナービデオ撮影【格安】サービス
- 納品までの流れ | セミナービデオ撮影【格安】サービス

「変更を保存」してからサイトを表示してみると先ほどとは変わっているはずです。

固定ページのホームの本文には、まだ何も入力されていないので中身の無いページが表示されます。

(7) 現行サイトから WP サイトへのコンテンツのコピー

7-1) 固定ページに文字を貼りつけて写真を挿入する

固定ページの本文を入力していきます。

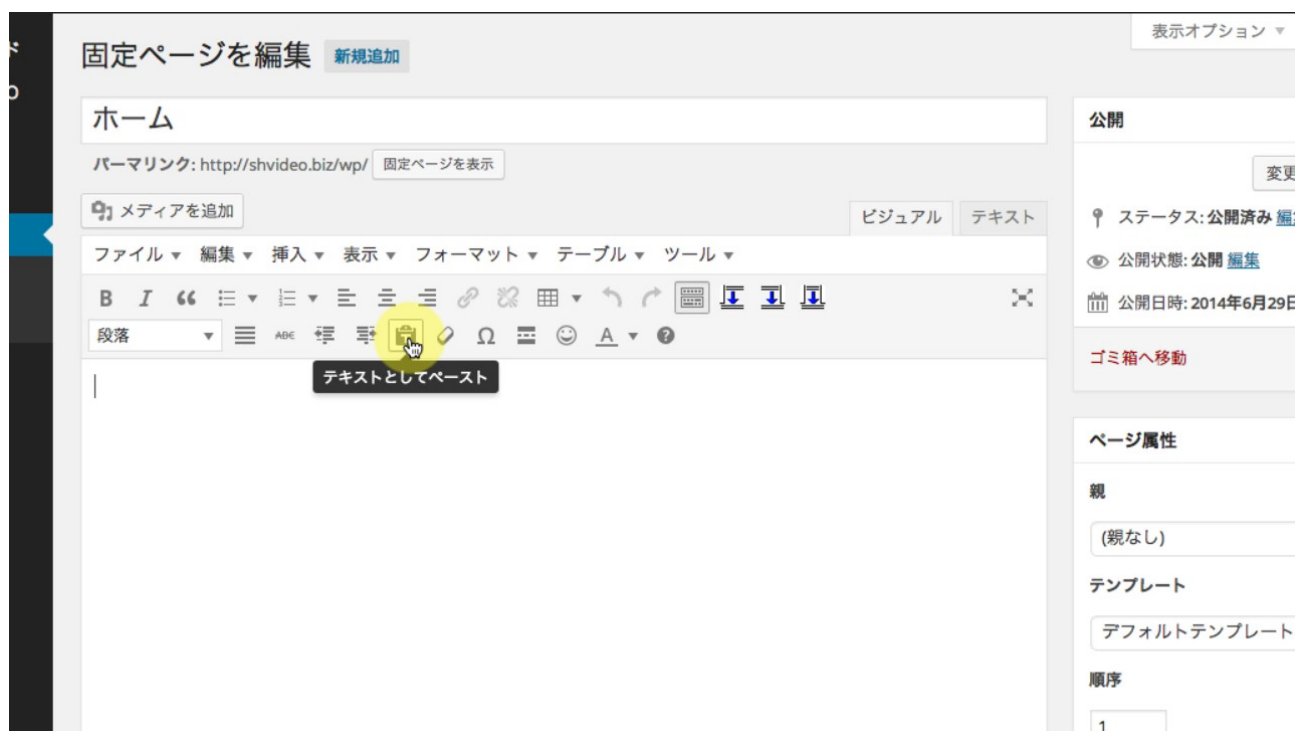
基本的には、既存サイトをブラウザで開いて文章をコピーして貼り付けていきます。

写真や画像については、多少操作がとなります。

ブラウザでコピーするページを開いたら、対応する固定ページを一覧から選らんで編集画面を開きます。

まず、既存サイトの文章をコピーします。

編集画面に戻って、ツールバー切り替えで”T”を表示してクリックします。

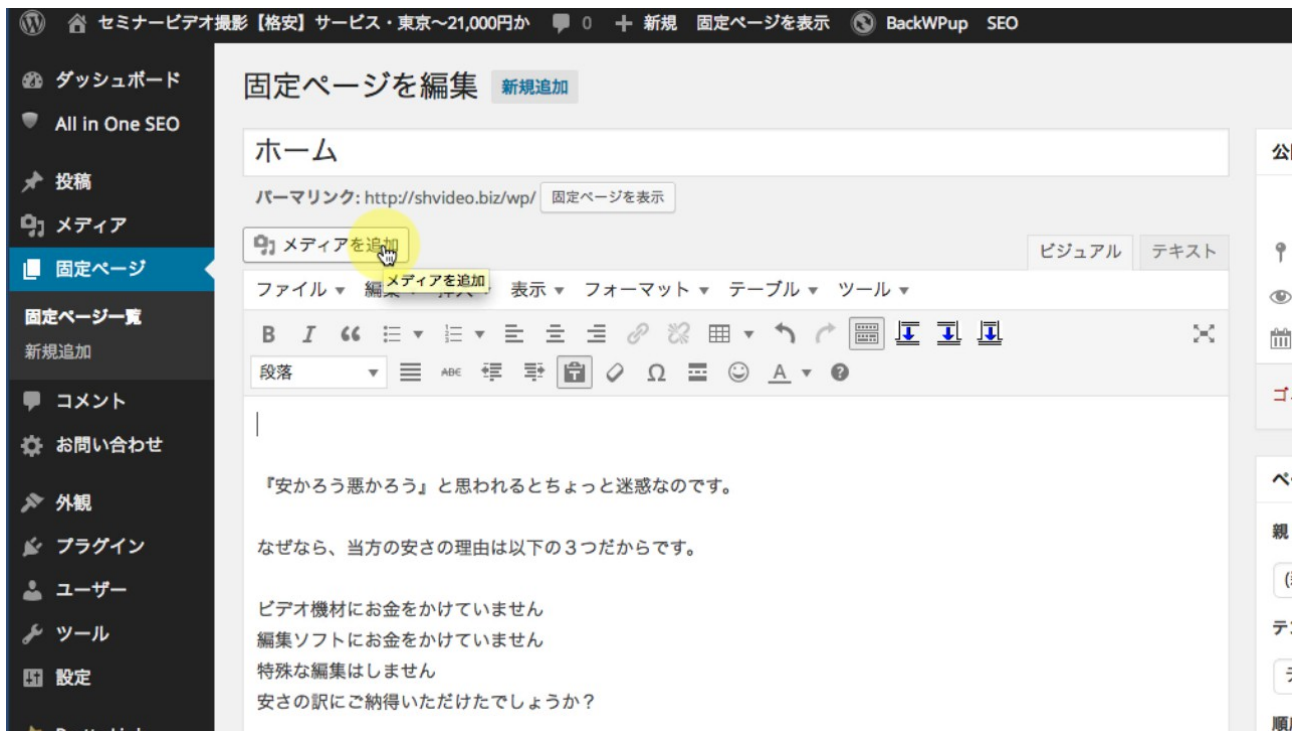


このような表示がされますので OK をクリックして、貼り付けます。

文章のコピーはこの作業を繰り返すだけです。

次に、画像や写真ですが、あらかじめメディアにアップしておいて作業するのもいいですが直接貼り付ける方法もあります。

画像を挿入する箇所の文頭に 1 行あけてカーソルをおき、ここで「メディアを追加」をクリックします。



ファイルをアップロードからファイルを選択して開きます。

右側で、配置 {左}、リンク先「なし」、サイズは適当に選んで「固定ページに挿入」します。

もちろん、配置は、中央や右にしてもいいですし、スマホを意識した場合は右寄せ、左寄せよりも中央寄せの方がいいかもしれません。

リンク先は、デフォルトで画像のリンク先になりますのでこのままでも構いません。

ただ、全ての画像に大きな画像へのリンクが付くことになるので個人的にはあまりお勧めしていません。

サイズは、元の画像が大きい場合はフルサイズでは大きすぎるので適当な大きさにしてください。

貼り付けると、ここで画像に下の文章が回り込む可能性がありますのでクリアをします。

また、回り込んでいなくても、画像の後ろでクリアをしておく方が無難です。

クリアの方法は、画像の下の記事の前にカーソルをおき、ツールバーにある clear-both アイコンをクリックします。

このように clear-both が挿入されますが、編集画面で見えているだけで実際には表示されません。

7-2) リスト表示

「リスト表示」は多用すると思いますのでその方法をご紹介します。

まず、文章を貼り付けて行が詰まっている場合は、それぞれを独立した行にするために改行をします。

次に、リストにしたい行をまとめてドラッグで選び、番号なしリストアイコンをクリックします。

固定ページを編集 新規追加



















ホーム



















パーマリンク: <http://shvideo.biz/wp/> 固定ページを表示

メディアを追加

ビジュアル テキスト

ファイル ▼ 編集 ▼ 挿入 ▼ 表示 ▼ フォーマット ▼ テーブル ▼ ツール ▼

B I  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼  ▼

段落 ▼  ABC                 

『安かろう悪かろう』と思われるとちょっと迷惑なのです。

なぜなら、当方の安さの理由は以下の3つだからです。

ビデオ機材にお金をかけていません

編集ソフトにお金をかけていません

特殊な編集はしません

安さの訳にご納得いただけたでしょうか？

公開

変更

ステータス: 公開済み [編集](#)

公開状態: 公開 [編集](#)

リビジョン: 3 [表示](#)

公開日時: 2014年6月29日

[ゴミ箱へ移動](#)

ページ属性

親

(親なし)

テンプレート

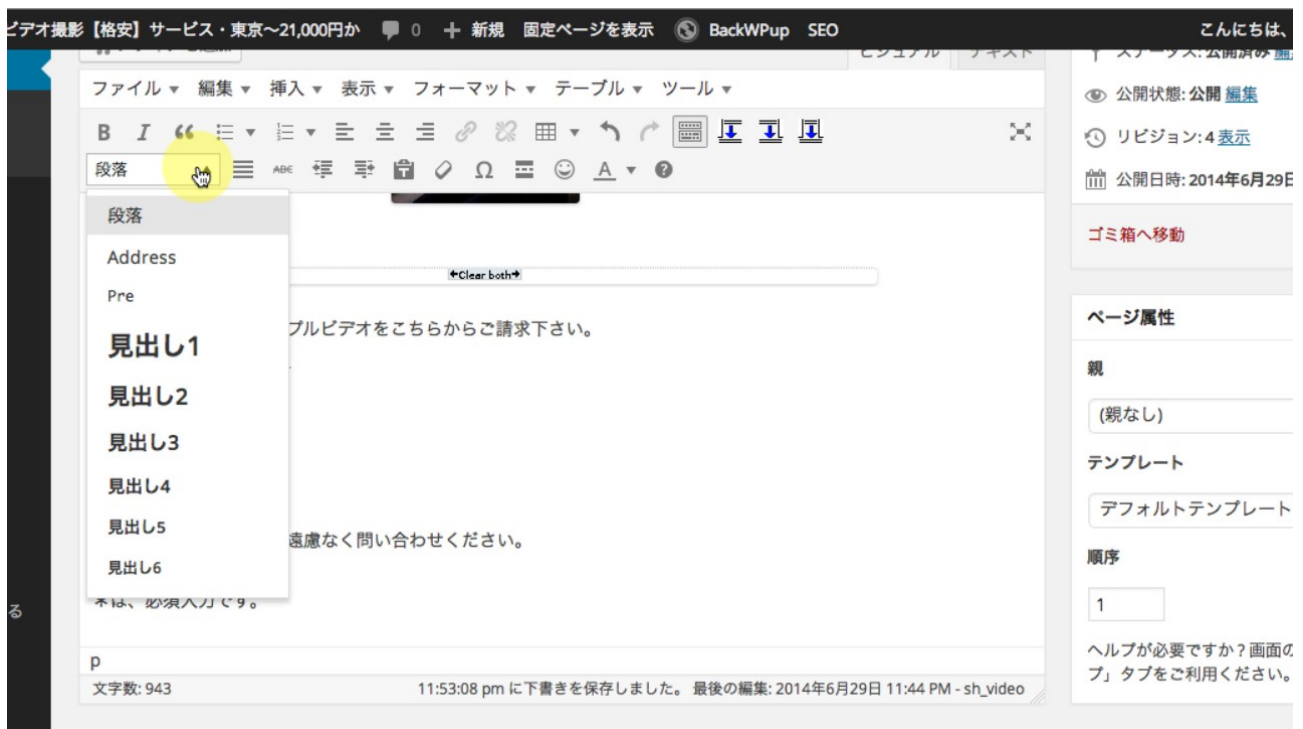
デフォルトテンプレート

これで選択した行がリスト表示になります。

7-3) リンクを設定する

文中の文字にリンクを設定する方法についてご紹介します。

リンクをしたい文字をドラッグして、ツールバーから”リンクの挿入/編集”をクリックします。



なお、文中の見出しは、基本的に”見出し3”以降を使うといいと思います。

見出し2までが、テーマで自動的にページタイトルなどに割り当てられていることが多いからです。

7-5) 文字色を付ける

文字にはいろいろな装飾ができますが、基本的に操作方法は同じです。

例えば、文字に色を付けたい場合は、色を付けたい文字を選んで”テキスト色”で設定します。

他の装飾も同じ手順です。



7-6) SEO 用のタイトルと説明を設定する

次に、All in One SEO Pack を有効にしたことで、固定ページごとにタイトルとページ説明が設定できるようになっているのでその設定方法についてご説明します。

最低限の原稿を作成してもらって、タイトルとページ説明文をこのように準備していると思いますのでこれを固定ページに貼り付けていきます。

適当に固定ページの編集画面を開いてもらって、下にスクロールしますと”All in One SEO”の設定エリアがありますので、原稿のタイトルをコピーして title に、原稿の説明文を description に貼り付けます。



ここにタイトルを設定すると、実際のページのタイトルはこちらの設定が優先されます。

7-7) お問い合わせフォームを作る

お問い合わせページ用のフォームを作ります。

既に、ショートコードは貼り付けてあり、フォームとしては機能していると思います。

ただ、一般的なお問い合わせフォームとしては設定不足ですので調整を行います。

設定変更は、”お問い合わせ”の設定を変更すればショートコードが貼り付けてある固定ページの方は自動的に変更されます。

まず、”題名”がありますが不要ですので削除します。

項目に”電話番号”がないので追加します。

タグの作成から、電話番号を選びます。



コードを左に貼り付け、体裁を整えます。

メールの方にも電話番号を貼り付けます。

次に、管理者に送られてくるメールのメールの件名がこれでは、わかりにくいので変更します。

例えば、”ホームページのお問い合わせフォームから送信されました”といった感じです。

また、メッセージ本文ですが、題名を削除しましたので、こちらからも削除します。

差出人は、お名前とメールアドレスに分けておきます。

最初から入っているフッターの記述も削除します。

次に、フォームを送信した人にも自動返信メールが行くように”メール（２）”を有効にします。

自動返信メールの件名ですので、”【（会社名）】お問い合わせありがとうございます。”といった感じがいいと思います。

差出人は、サイト運営者ですから会社名や屋号を入れます。

本文は、体裁を考えてこのような文章がいいと思います。

[your-name] 様

藤田ひろし@えびす商売繁盛マーケティング です。

※これは自動返信メールです。

管理者とフォーム送信してくれたユーザーに自動的にメールが送られれば設定がうまくいっています。

7-8) YouTube 動画の埋め込み

動画を埋め込みたい場合の方法をご説明します。

動画サイトにてあらかじめ埋め込みコードをコピーしておきます。

動画を挿入する場所にカーソルを置き、挿入→動画を挿入を選びます。

埋め込むタブの方で、先ほどのコードを貼り付けます。



7-9) テーブル（表）

「特定商取引」ページのようにテーブル（表）を使いたい場合の方法をご説明します。

ツールバーの中にある、テーブルアイコンからテーブルを挿入にいくとサイズが決められます。

例えば、2列9行といった感じで表を挿入できます。

表ができたら、文字を入力するなり、既存サイトから文字をコピーしてきて貼り付けていきます。

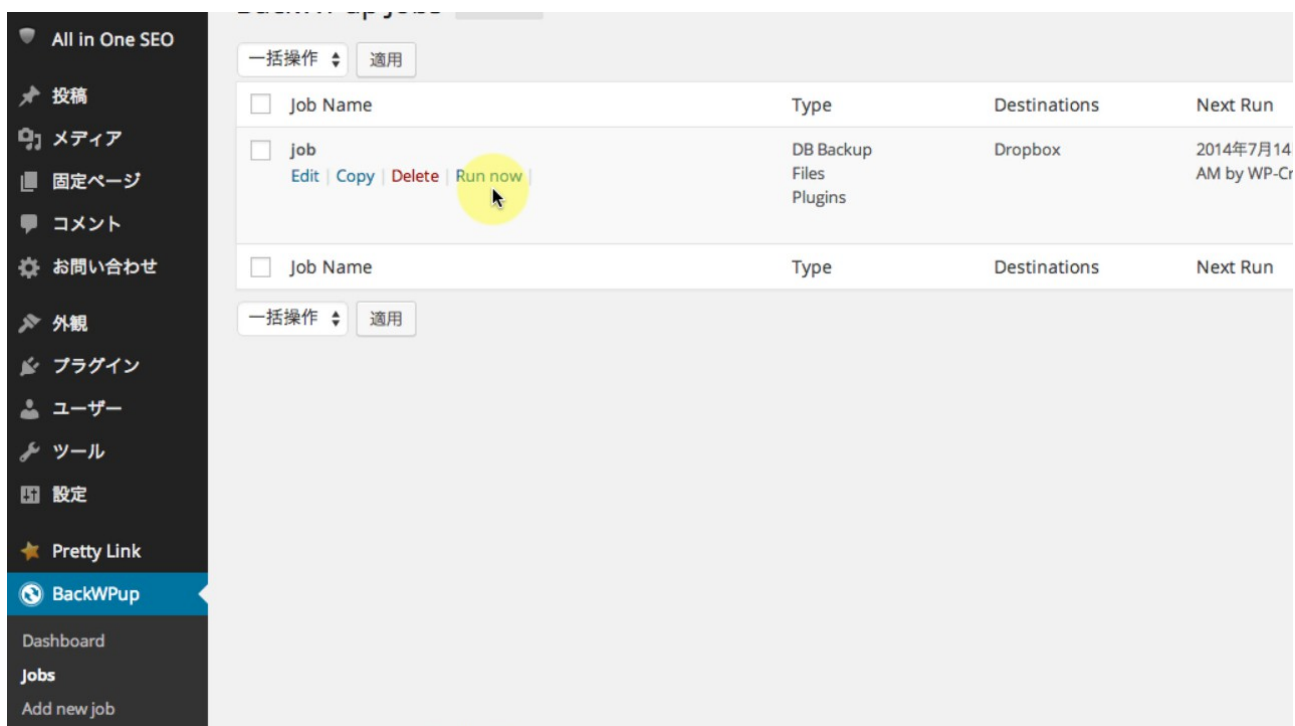


7-10) 残りのページをコピーしてバックアップをする

後は、同じように固定ページに既存サイトから文章を貼り付け、写真を挿入していただくだけです。

すべての編集が終わりましたら、いよいよ引っ越し作業をします。

引っ越し作業をする前に、一度 Backwpup を実行して最新のバックアップを取っておきます。



Dropbox の方も確認して、かならずファイルがアップされていることを確認しておきます。

(8) データベースとファイルの移動とサイトの切り替え

8-1) データベース書き換えのためのスクリプトを入手する

WordPress を引っ越しするとは、データベースの”URL”を変更するということになります。

手作業でも可能ですが、ミスなしで完了させるのは至難の技です。

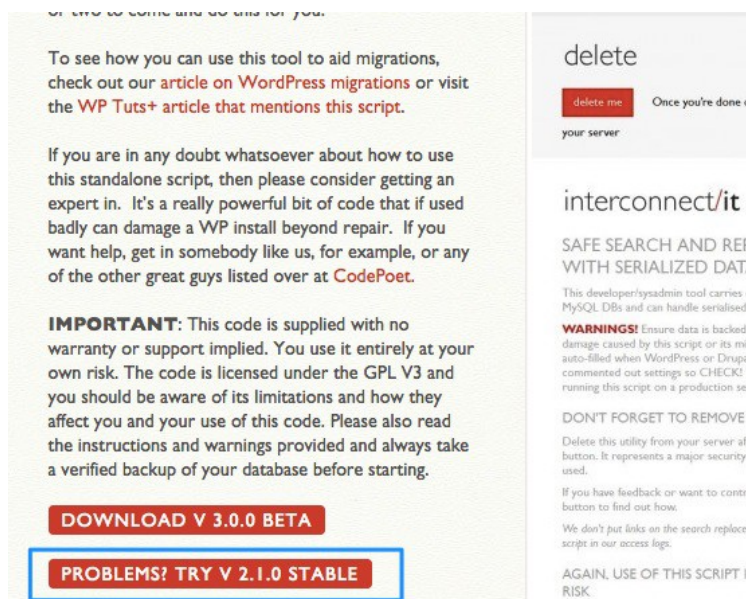
そこで、一括で URL の置換をしてくれるスクリプトを使ってこの作業を行います。

スクリプトは以下のサイトで入手できます。

<https://interconnectit.com/products/search-and-replace-for-wordpress-databases/>

安定版である v 2.1.0 をクリックします。（2015 年 5 月現在）

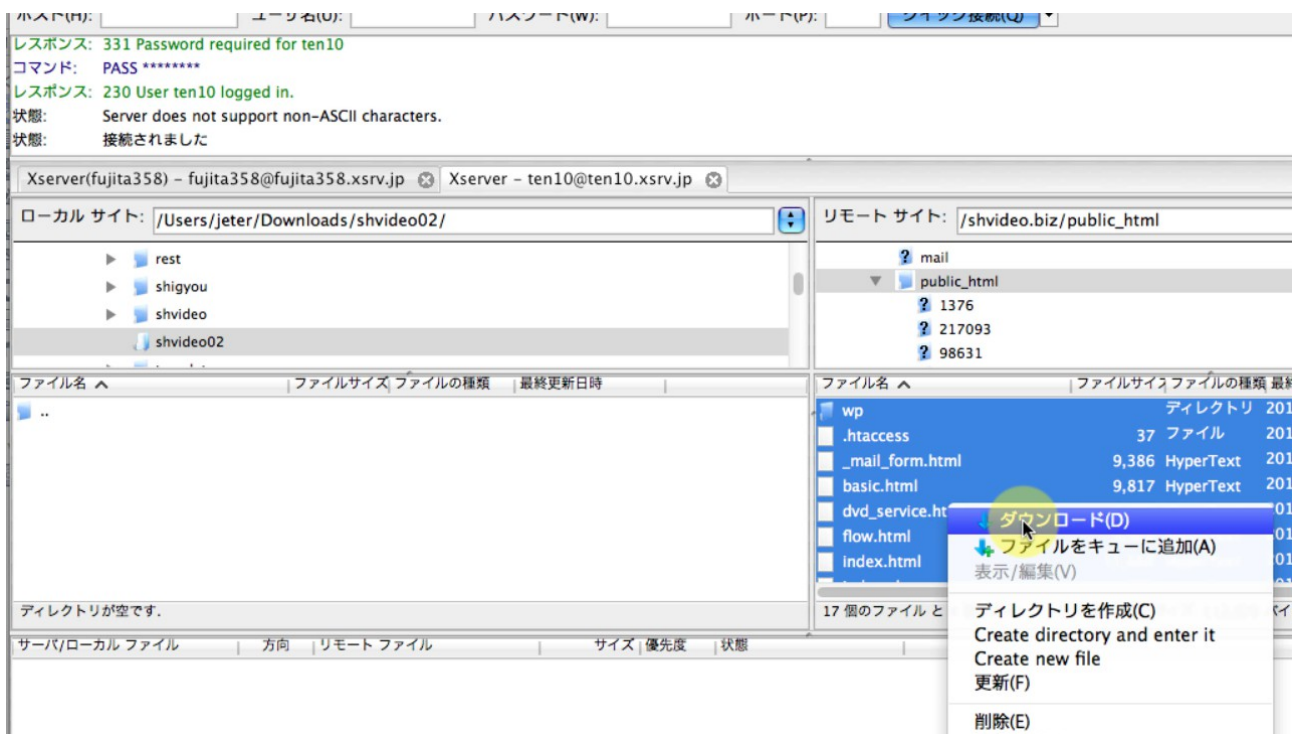
ZIP ファイルがダウンロードされますので、解凍しておきます。



8-2) FTP で WordPress サイトをバックアップする

FileZilla を起動して、サイトマネージャから最初に作ったエントリを選んで接続します。

最初の手順と同じように、既存サイトの下に作ったフォルダ「wp」（WordPress をインストールしたフォルダ）を自分の PC にバックアップします。



8-3) ファイルの移動をする

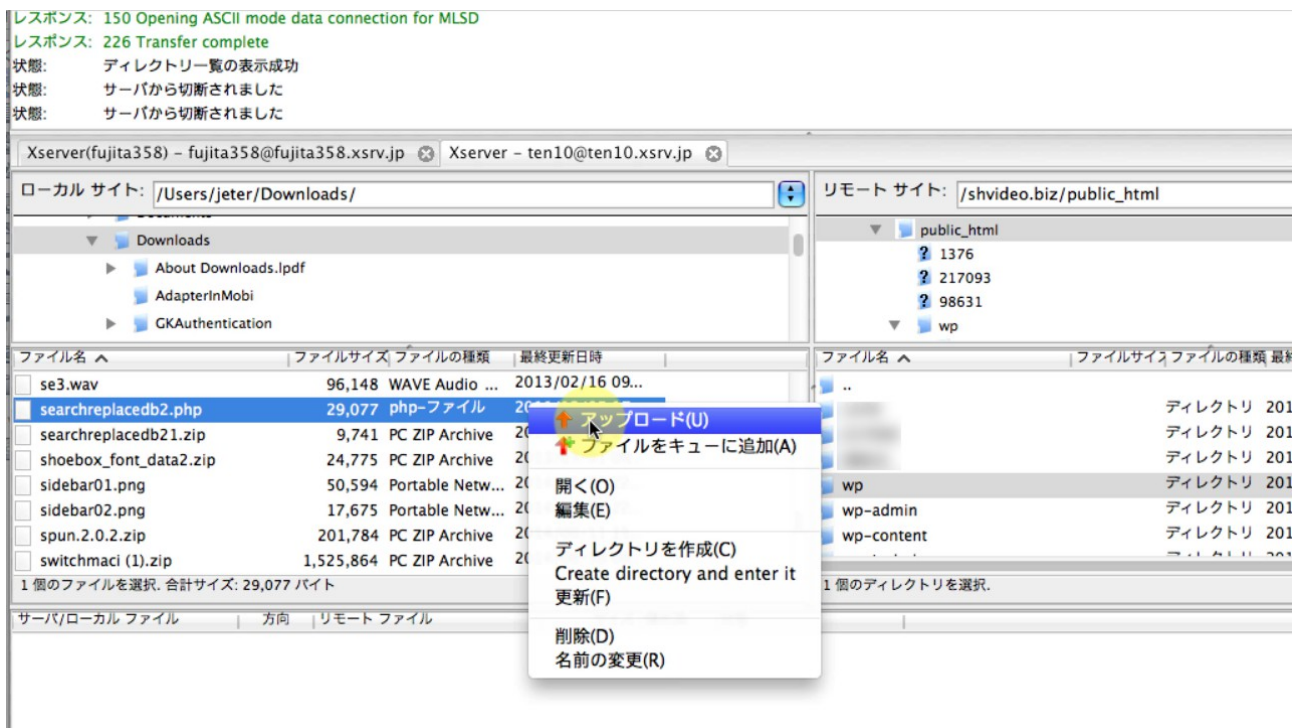
バックアップが終わったら、ルートにある既存サイトを構成するファイルをすべて削除します。

つまり、「wp」以外すべてです。

「wp」も後で削除しますが、引っ越しが完了するまでは残しておいてください。

つぎに、PC 側にダウンロードしたファイルの中の wp の中にあるファイルをすべてルートにアップロードします。

アップロードが終わったら、先ほどダウンロードして解凍したスクリプトファイル「searchreplacedb2.php」をルートフォルダにアップロードします。



8-4) スクリプトでデータベースを書き換える

スクリプトを動かしてデータベースの値の書き換えを行います。

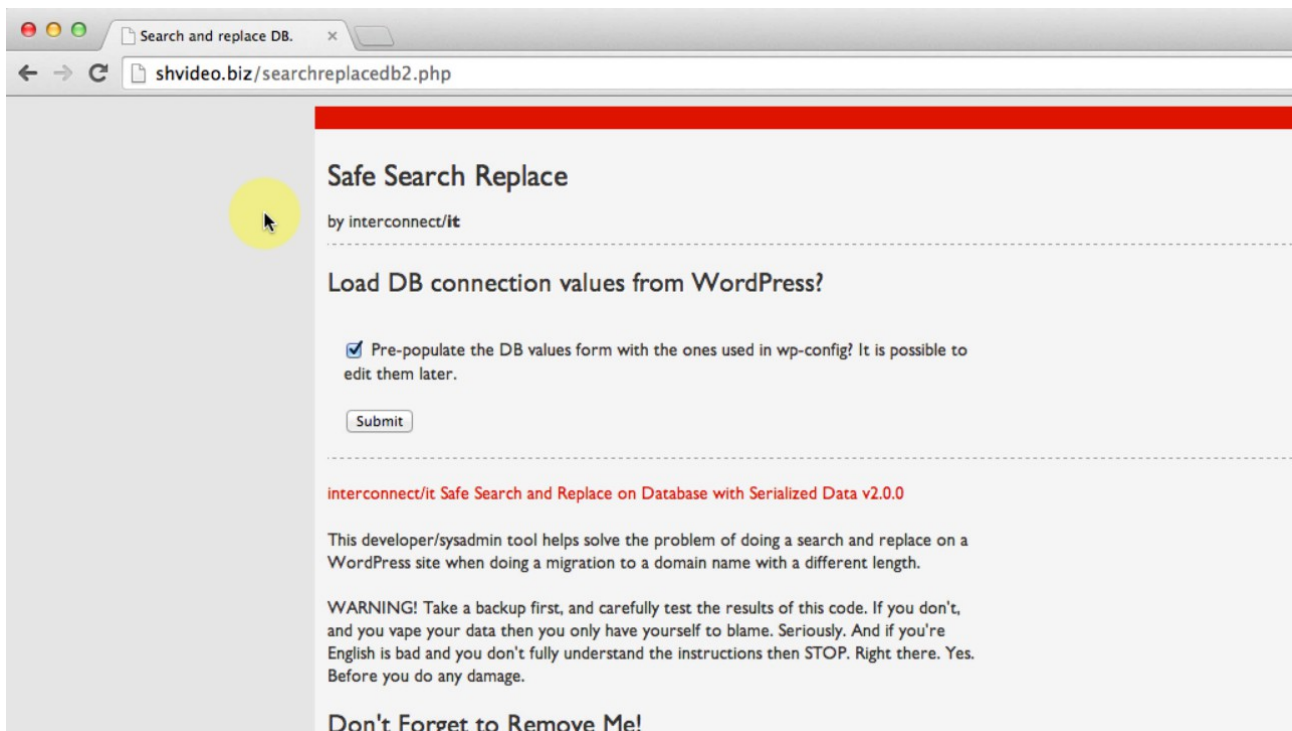
この作業は、注意深くやってください。

もし、失敗した場合は、Backwpup でDropbox にバックアップしているデータベースのファイルで上書きして戻せますが、その方法は今回はご紹介していません。

注意深くやっていたいただければ失敗しませんが、仮に失敗されて元に戻せなくなっても当方としては責任を負いかねますので自己責任にてお願いいたします。

ブラウザで以下の URL を入力してスクリプトを直接動かしします。

[http://\(あなたのサイトのURL\)/searchreplacedb2.php](http://(あなたのサイトのURL)/searchreplacedb2.php)



Safe Search Replace という画面が表示され、チェックボックスがあり”Pre-populate the DB values form with the ones used in wp-config? It is possible to edit them later.”その下に「Submit」ボタンがあるのでそのままクリックします。

Database details が表示されて、wp-config.php から自動的に値を抜き出して設定してくれるので、「Submit DB details」をクリックして進みます。

次の画面で値を置換したいテーブルを選んで、その次の画面で検索するワードと置換するワードを入力します。

つまり、旧 URL と新 URL を入力します。

仮に WordPress 化をしているサイトの URL が「shvideo.biz」であって、WordPress 化のために作ったフォルダ名が「wp」であれば以下のようになります。

shvideo.biz/wp ⇒ shvideo.biz

★ここがもっとも注意する箇所です。

by interconnect/it

What to replace?

Search for (case sensitive string):

Replace with:

Submit Search string

interconnect/it Safe Search and Replace on Database with Serialized Data v2.0.0

This developer/sysadmin tool helps solve the problem of doing a search and replace on

間違いなければ、実行します。

変換が終わると”Completed”が表示されて処理結果がでます。

問題なく終わりましたら、データベースの書き換えが終わっていますので、あなたのサイトにアクセスして WordPress 化したホームページが表示されることを確認します。

また、管理画面も新しい URL でアクセスして

[http://\(あなたのサイトのURL\)/wp-admin/](http://(あなたのサイトのURL)/wp-admin/)

に従来のユーザー名、とパスワードで入れることを確認します。

確認が終わりましたら、サーバーの「wp」フォルダはもう不要ですので削除します。

また、忘れずに、「searchreplacedb2.php」をサーバーから削除します。

最後に、一番最初に検索エンジンのインデックスを回避するために行った設定を元に戻します。

管理画面「設定」の中の「表示設定」で、“検索エンジンの表示”という箇所でした。

ここの“検索エンジンがサイトをインデックスできないようにする”のチェックを外しておきます。

これをしないといつまでもたっても検索結果に表示されませんのでご注意ください。

以上で、全て WordPress 化の作業が完了です。

お疲れさまでした。

あとがき

本書を最後までお読みいただき本当にありがとうございました。

本書の内容で、あなたの Web サイトが WordPress サイトになることで様々なメリットをお受け取りいただけたら本当にうれしく思います。

さて、最後にもう一度お知らせです。

以下の URL から本書の内容をまとめた動画セミナーを無料でご覧いただけます。

動画では、実際のサイトを使って具体的に WordPress 化の作業をしていますので非常にわかりやすいです。

本書の内容と完全に一致していますので、両方あるとよりわかりやすいと思います。

<http://ssw2005.net/wp2015>